
Koi-hime
vol.15
リリイがヤラせてあげる♥
佐藤沙緒理
ナカまで憑いて♥
みずきひとし
性感霊感巫女少女
みこまん
原作/ヤマモト月
まんが/葵 抄
遊月恋歌
ゆーきぃ

性霊感巫女

みこまん



まんが 葵抄（あおい しょう）

原案 ヤマモト月（るな）


その…たわわに実った
果実の様な…乳房
その乳房を…
吸いつくし
もみしだいて
ぐちゃぐちゃに…

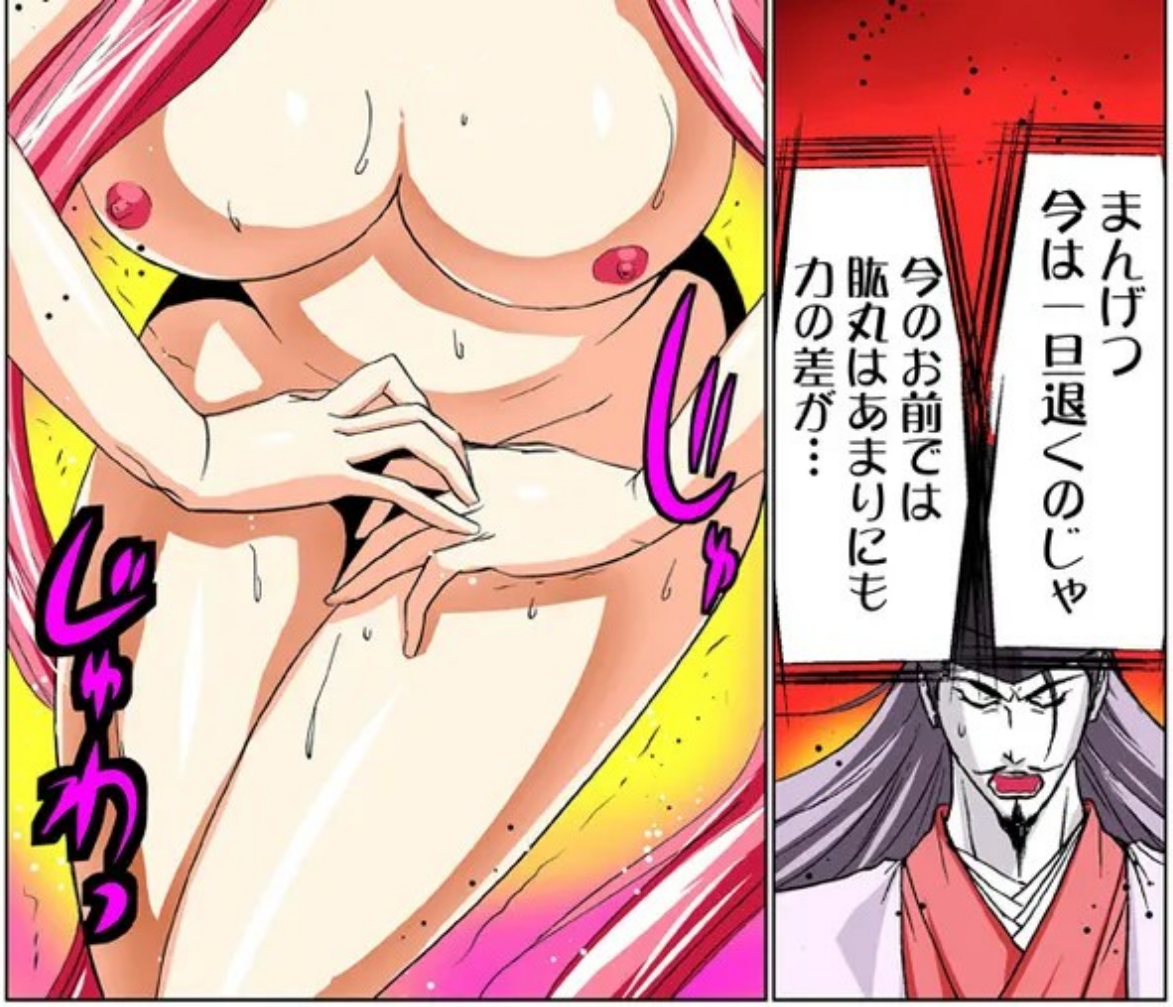

今にも汁があふれそうな
白桃の様な…美尻…
その穴という穴に
すりきれる程
ねじこんで
かきまわして…


その濡れた
唇を…
キヒ
あえぎ声が
でない様に…
ず太い塊で
ふさぎこんでやる


ギヒッヒッヒッ
ヒッギー――


め…目がイっちゃってるよーじっちゃ――ん
ぞわわー
アブなすぎアイツー…
眇丸（ヒジマル）
冥界の刺客軍団の中でも恐れられている魔物


残忍冷酷…死すら楽園と思える程の拷問
超ド級のドS（エス）だ
よだれもたれてるし…
まずい…
まだ…まんげつがこやつと交わるにはあまりにも…早すぎる
こわい～


まんげつ
今は一旦退くのじゃ
今のお前では
眦丸はあまりにも
力の差が…
じゃ
じゃわっ


ゴク
あの…
大木の様な
巨根(ペニス)
あんなモノが
私の膣内(なか)に…
もじ
もじ
ぱんぱんに
ねじこまれ
ちゃったら…


あンン
想像した
だけで…
ピクン
ピククン
やあン
お…お汁が…
あふれて
きちゃうぅっ


まんげつ
びくん


いくらお前が
超敏感体質
だからと言って…
感じていい相手と
悪い相手が～～～っ
ごめんごめん
じっちゃん！
で…何て
言ったの？
……
……
びくっ
びくっ
びくっ


いやっ
や…
ブルルル
ああっ
やあ
ブルブルブル


まんげつ!!
キヒっ
んんっ
はぅっ
ガクガク
ガクガク
キキっ


いかん!!
コレは精霧じゃ!!
…え?
せ…セーム?
……おバカめ…
よく…見てみろ♡
ツクツク


ハイライト

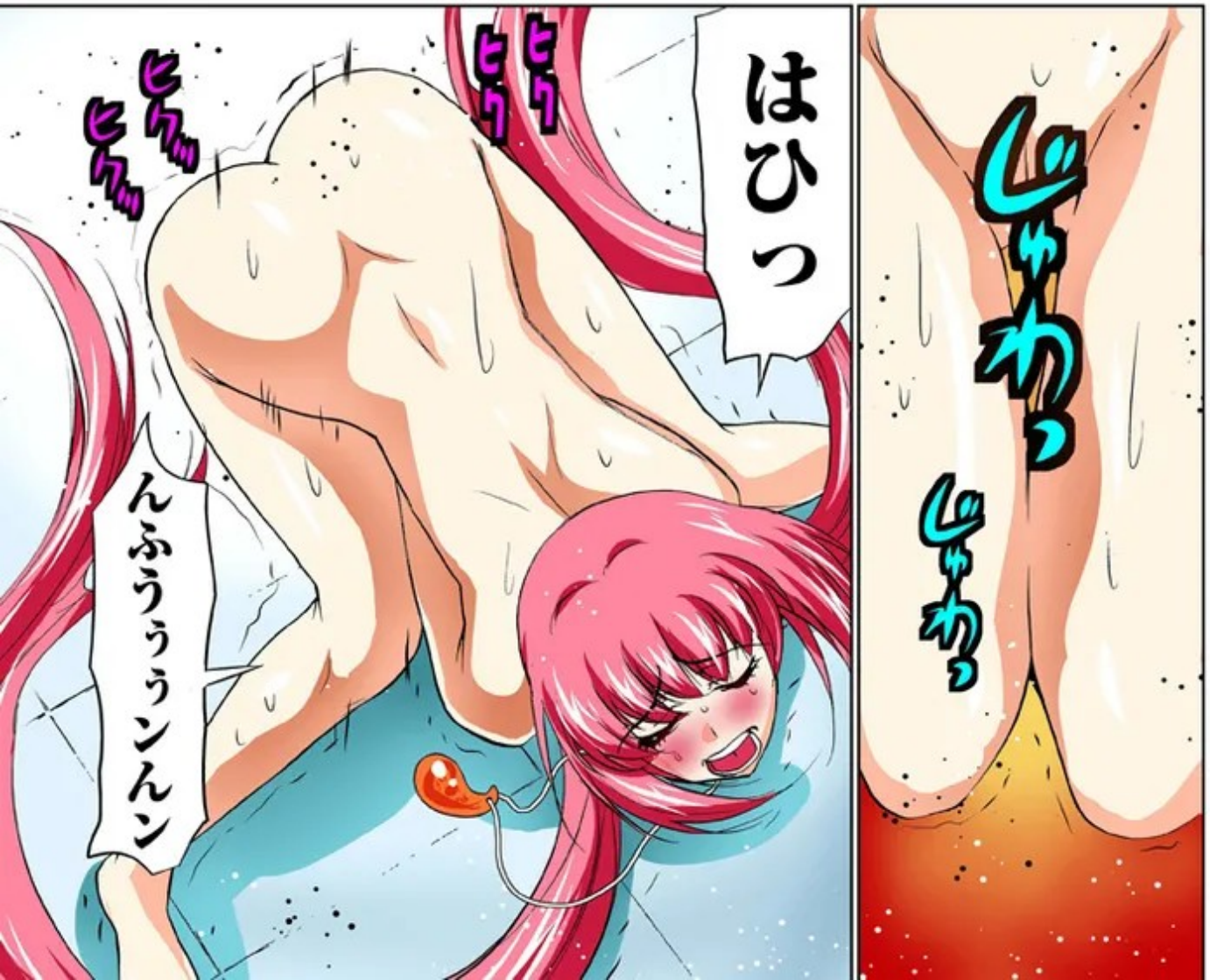

「精霧」
クレイジーミスト


霧状の精液
スペルマ
それをヒジ丸は
全身の毛穴から
自由に射精できるのだ
びゃ
ぢゃ
ぢゃ


分子レベルの細かな霧状の
精液は相手の毛穴から吸収
され…
びくん
びくん


全身に
行き渡り
ビクン
ビクン
やがては身動きが
できん程の快楽に
身悶えし…


あふ
びくん
びくっ
びくっ
やだ…
なに？
乳首が…
おっぱいが急に
…ほてって…
熱くなって…
はふう

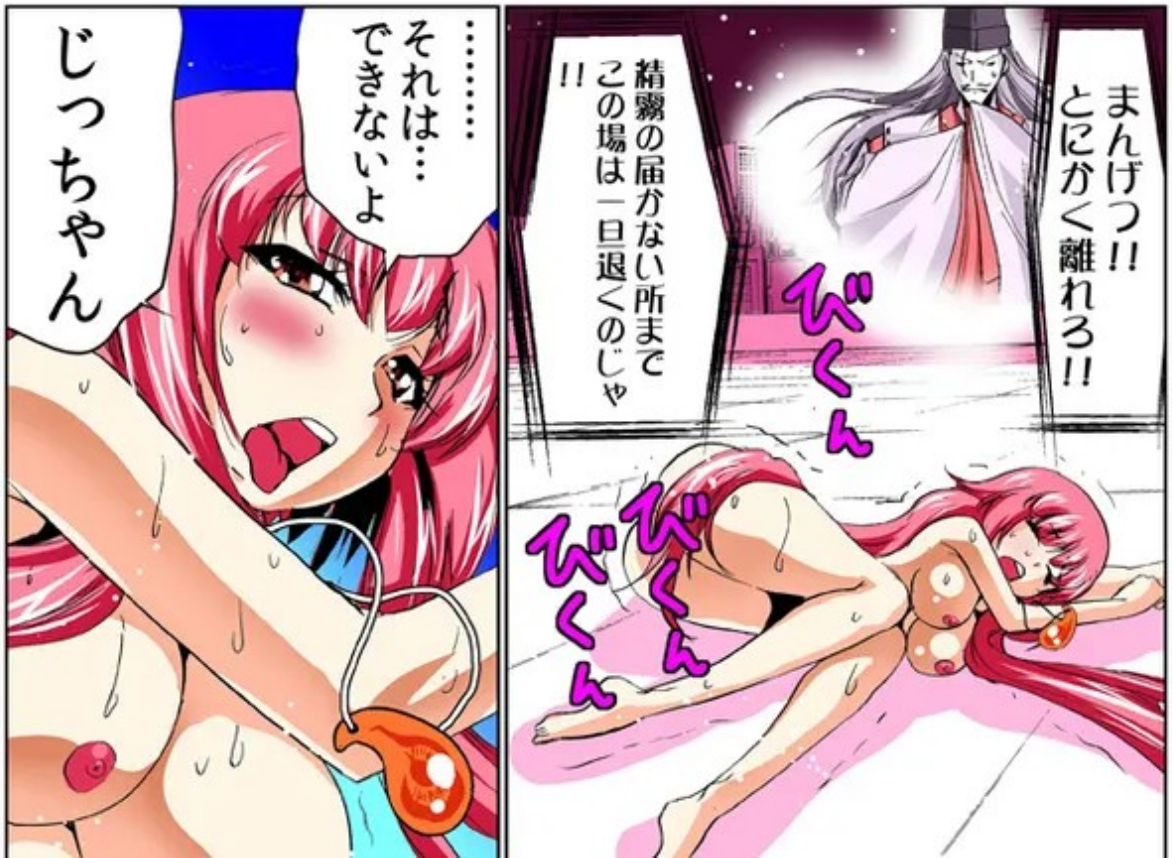

じゅわっ
じゅわっ
はひっ
ヒクヒク
ヒクヒク
んふうぅぅンんン


何で…？
お汁が…
じゅわ
じゅわ
んはっっ
お♡♡こから
あふれて　止まんない…
ど　どうして…？
あン
んん
ん

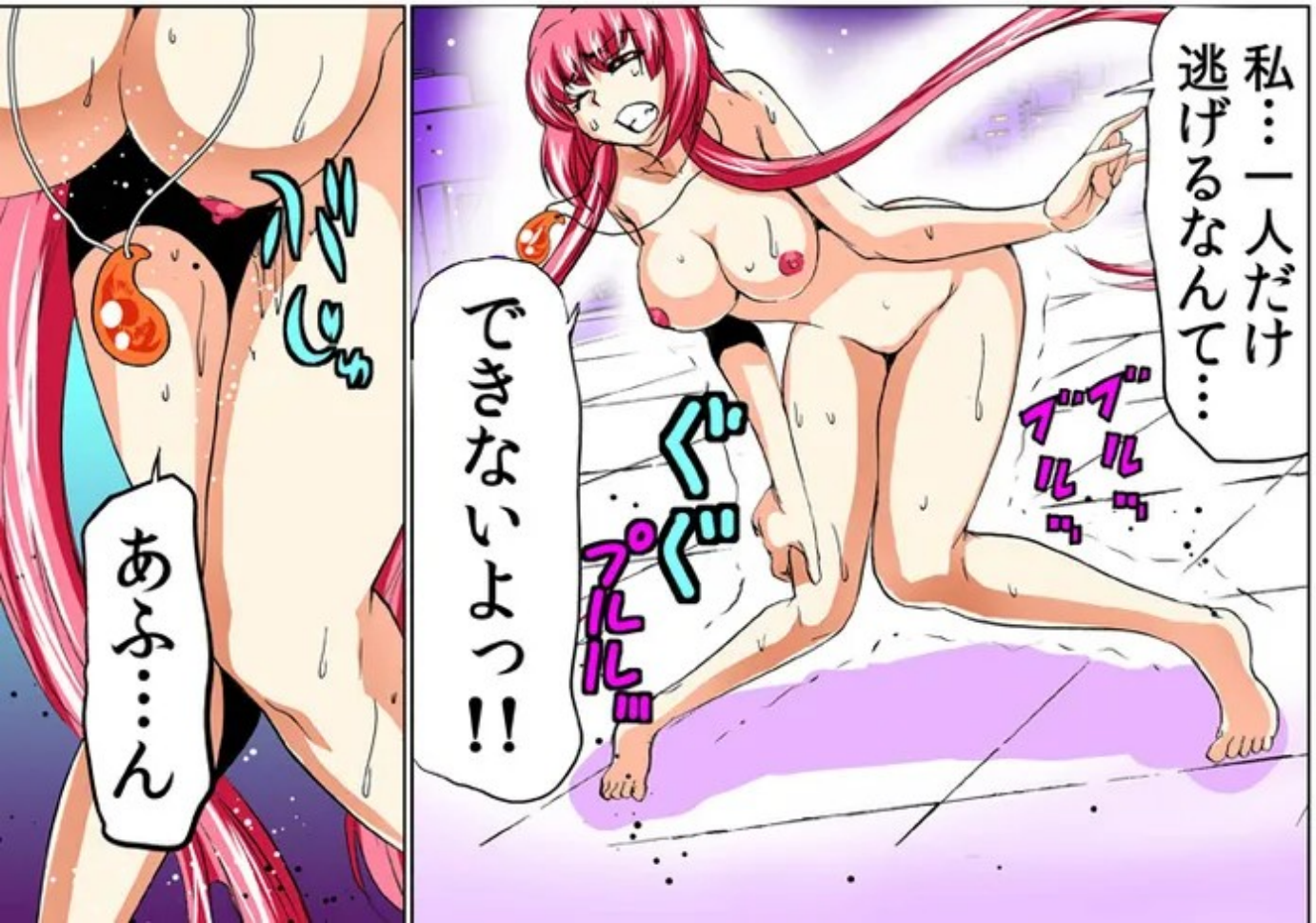

やだ
やだ…
イっちゃ
ヒクヒク
イっちゃう
うぅっ


やっ
あ…あひっ
ひいいい
いいんっ


イってもイってもイキきれず
悶絶死しちまうって事なんだよ
ひ…ひ…あひひっ
ブルブルブルブル
んんん


まんげつ!!とにかく離れろ!!
精霧の届かない所までこの場は一旦退くのじゃ!!
びくん
びくん
びくん
……それは…できないよ
じっちゃん


三日月も
がんばってる
十六夜も…
たたかってる


私…一人だけ
逃げるなんて…
ブルブル
ブルブル
ぐぐ
プルルン
できないよっ!!
あふ…ん


だが…
お前のそのいやらしいお♡♡こは…
コレが欲しくてたまらんのだろう？
ゴクっ
く…


満月!!
ここは逃げるのじゃ!!
ヒクヒクヒクヒク
まんげつ!!




まんげつ
まんげつ
逃げるのじゃ


カクーン
んひ


ク…
クク…
精霧が体中に
染み込んで
きたかなぁ♪


ああ…
あっ
頭の中がしびれて…きて
くちゅくちゅ
おまたも…ひりひり…
やん…やん…
すっごく…すっごく
やらしい気持ちに…なってきちゃったぁあ
ピクン
ピクン


クク…な～んてだらしのないお♡♡こなんだ
愛液をだらだら垂れ流しておるぞぉ
やだやだ…
そんな風にいわないでぇえ
びちゃびちゃ


どうして欲しいのだ？
その汁だらけの蜜壺に…
何をねじこんで欲しいのだ…？


まんげつ！
気をしっかり持つのじゃ!!
満月
……
ごくり
……さい…
…くだ…
……さい


ク…
何を？
その……
おちん…ちんを…
ヒクヒク
ヒクヒク
いれ…
入れて…


H
……


ふ〜ふ〜
〜〜〜〜〜〜
ふ〜〜っ
んあっ


んひっ
ビクッ
ぱん
んひっ


膣内が…
おちんちんで…
ぱんぱん…
んひっ
ひっ
みぢっ
みぢっ
みぢぢ
あひっ
それだけで
イっちゃ…
イっちゃ…
ブルルッ


イク…
すぽっ
!?
ブルルッ
や…
イク…前に…
そんな…
抜いちゃ……
ブルッ
ブルッ
ヒクヒク


んふっ
んっ
ぬぢゃ
びぢゃ
びぢゃ
ガクガク
〜〜〜んんん


ブルッ
ヒっ
ぬろ〜ん


んふっ
ふっ
ピクン
ピクン
ピクン
んんんあ


イキたくても
イケぬのは…
ガク
ガク
ブルッ
ブルッ
せつなかろうて…

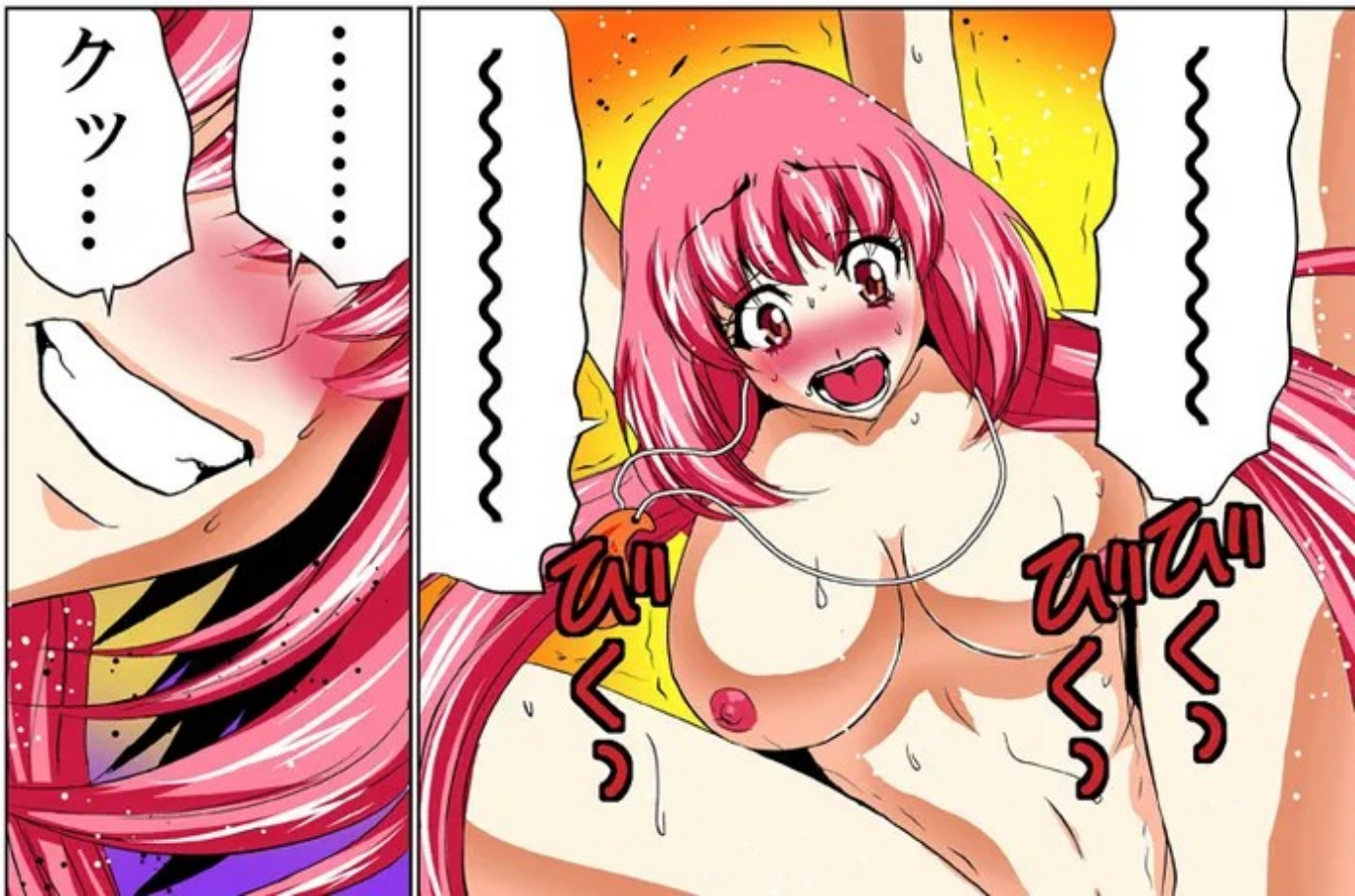

この悶絶地獄…
果ては無い…
永遠に続く…
快楽と絶望…
ククっ


精神(こころ)も身体(からだ)も
果てつきても
お前を殺しは
しない
生きたまま お前の
霊肉を地獄の軍団共の
馳走としてやろう


ずぶっ

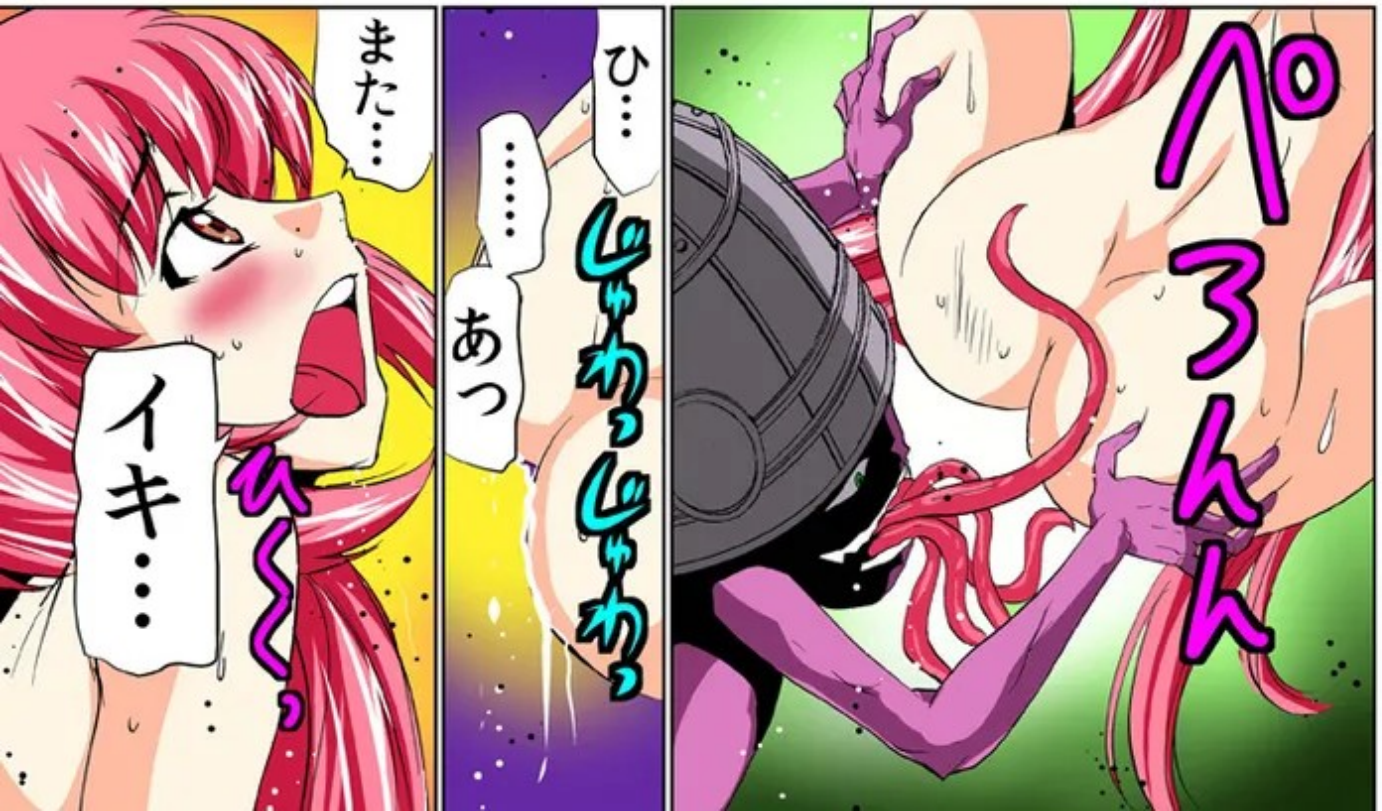

ひっ
あい…
いい
みぢ、みぢ、みぢ
お
おっぉ
ヒクヒク
あああっっあ


おっ


ひぃ
ひぃぃ
くっ
くっ
クッ…
……


ぱ
ぱん
ぱぱん
ぱぢゃ
んんっ


それなら私が
先にアナタ達を
…んあ
ぱぢゃ
逝かせて
やるっ

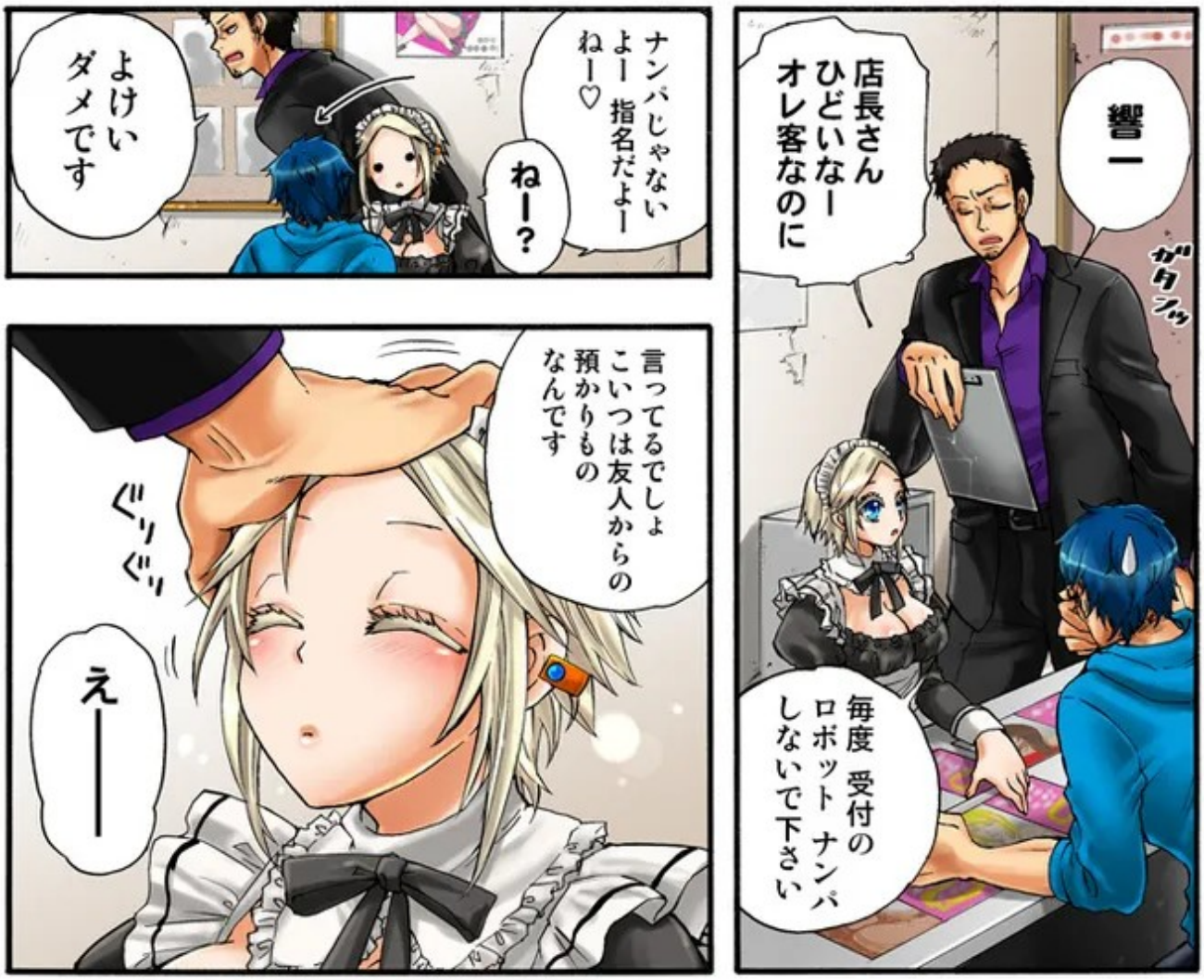

ぺろんん
ひ…
じゅわっじゅわっ
……
あっ
また…
ひくっ
イキ…

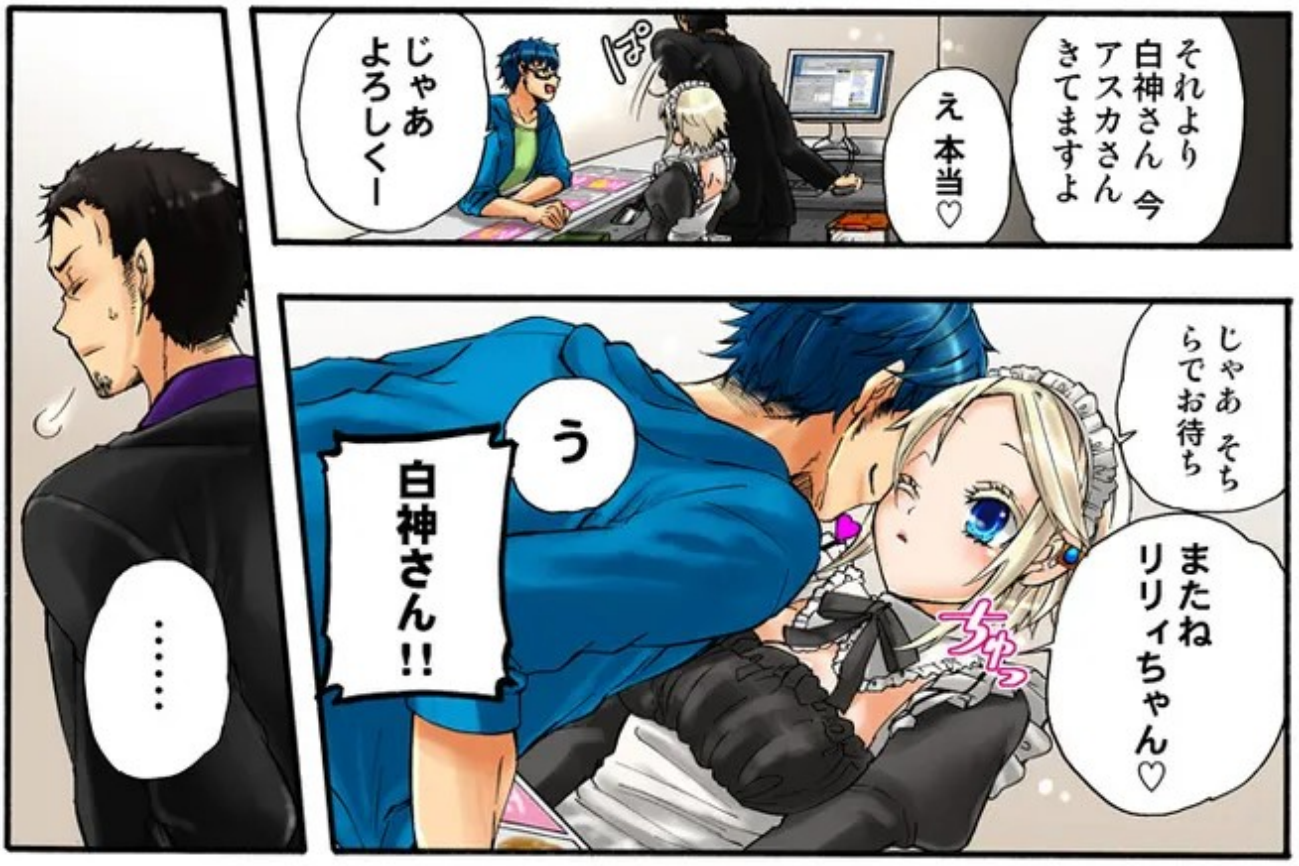

めりぱり
んひっん
どうぞ
どうぞ
逝かせて
おくれよ

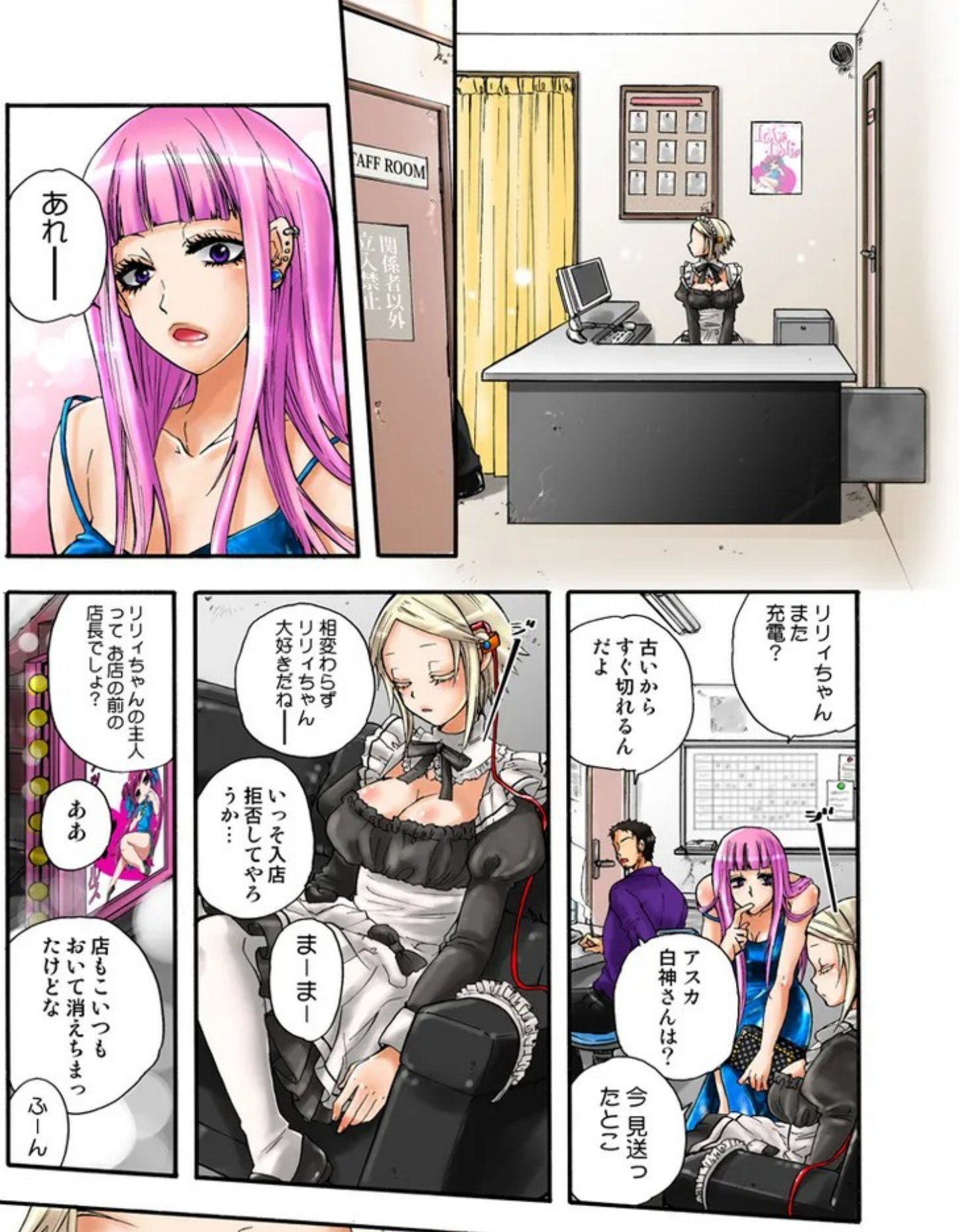

んあづっ
ぺろおおん
ぐぐにぃ
その超ビンカンな
だらしない身体で
どこまでできるかな？


リリィがヤらせてあげる♥
佐藤沙緒理


「どの娘にしますか？」
かくん
カリッ
いらっしゃいませ
ファッションヘルス
STAFF ROOM
君で!!
人間から指名して下さい

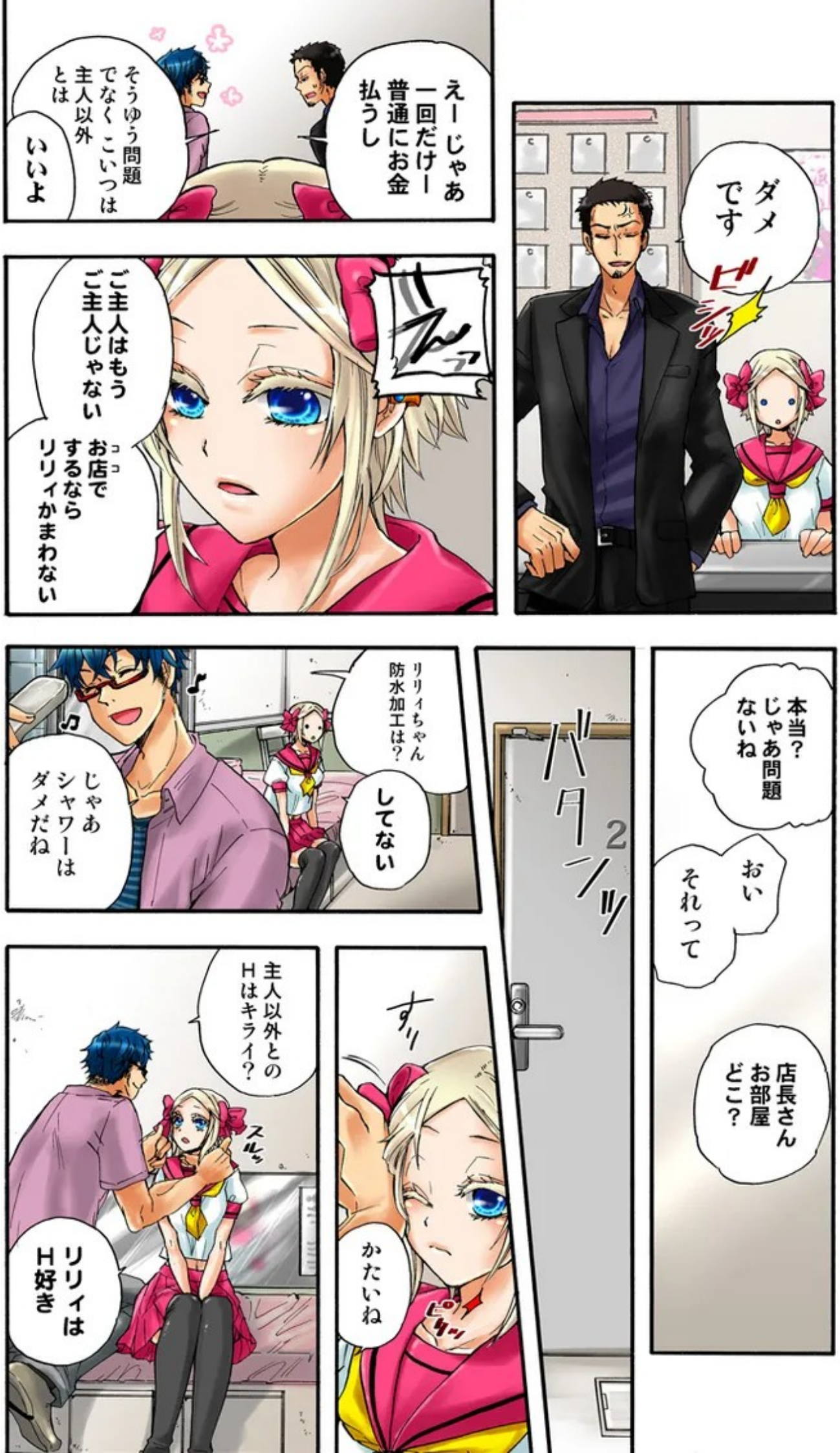

響一
店長さん ひどいなー オレ客なのに
毎度 受付の ロボット ナンパ しないで下さい
ガタッ
ナンパじゃないよー 指名だよーねー♡
ねー？
よけい ダメです
言ってるでしょ こいつは友人からの預かりものなんです
ぐりぐり
え――


それより 白神さん 今 アスカさん きてますよ
え 本当♡
じゃあ よろしくー
ぴ
じゃあ そちらでお待ち
またね リリィちゃん♡
ちゅっ
う
白神さん!!
……


あれ――
TAFF ROOM
関係者以外
立入禁止
リリィちゃん
また
充電？
古いから
すぐ切れるん
だよ
アスカ
白神さんは？
今
見送っ
たとこ
相変わらず
リリィちゃん
大好きだね――
いっそ入店
拒否してやろ
うか…
まーまー
リリィちゃんの主人
って
お店の前の
店長でしょ？
ああ
店もこいつも
おいて消えちまっ
たけどな
ふーん
戻って
くるの？
さぁな
でもこいつは
待ってるだろ
カチ
スゥ…


ねいっそ白神さんに売っちゃえば？
ぽわっ
は？
ギィィン
だって愛玩用ロボでしょ？
Hでかわいがってくれる人の所のが幸せじゃない？
あのなぁ…
……
ほら電気代もバカになんないし
お前が払ってるわけじゃないだろ
とにかくダメだ
何で
何でも
この話 白神さんにするなよ
え
「え」？
くぅ――り


そこのロボットひとつ
くださいな♡


えーじゃあ一回だけー普通にお金払うし
そうゆう問題でなくこいつは主人以外とは
いいよ
ダメです
ビシッ
ご主人はもうご主人じゃないお店(ココ)でするならリリィかまわない
本当？じゃあ問題ないね
おいそれって
店長さんお部屋どこ？
バタン2
リリィちゃん防水加工は？
してない
じゃあシャワーはダメだね
すり
かたいね
ピクッ
主人以外とのHはキライ？
スルッ
リリィはH好き


んっ
ふっ
んっ
ここ
傷があるよ
ひうっ
~っ
んんっ
ふぁ
うん
上手 上手
んっ
あ
あれ?
痛いの?
痛くない…
でも
ふーん
よく見ると
小さい傷
いっぱい
あるね
すぅ
つや
て
これは
ご主人様の
シュミ?
さわっ
くちゅ
くちっ
う
っあ
スリ
スリ
言えないっ

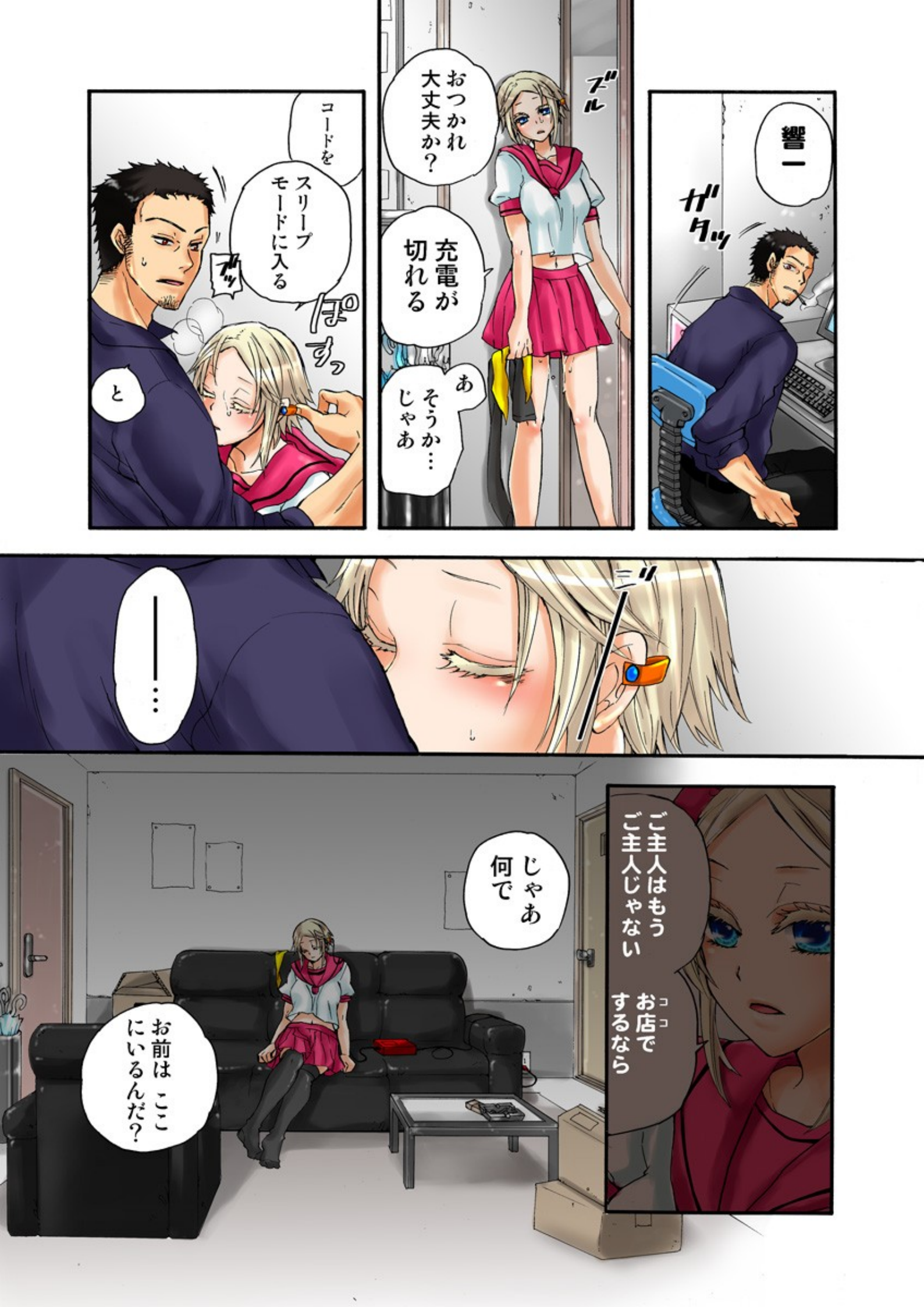

どうして？
言っちゃいけない 決まり…
ああ プライバシーねっ
でもこんな傷 ご主人様は変態だね
くにっ
ビクッ
アッ
〜〜〜っ
ぎゅうっ
あ
すごい顔
っ
ロボットでもそんな顔できるんだね
くちゅ
や
ビクッ
ひ
アッ
ちゅぱっ
敏感だね かわいいなぁー
ねやっぱりオレのところにおいでよ
ハアッ
ハッ
ちゅるっ
あ
もっとやさしくしてあげるよ？
っやさしく…？
うん♡
こんな風に
ズッ
ヒッ
アッ
ビクッ


ハッ
ハアッ
ハッ
あっ
イっちゃってる？
まだ入れただけだよ？
や
抜いてっ…
ひっ
ばっ
何で？
平気でしょ？
や
ん
あ
ロボットだもんね

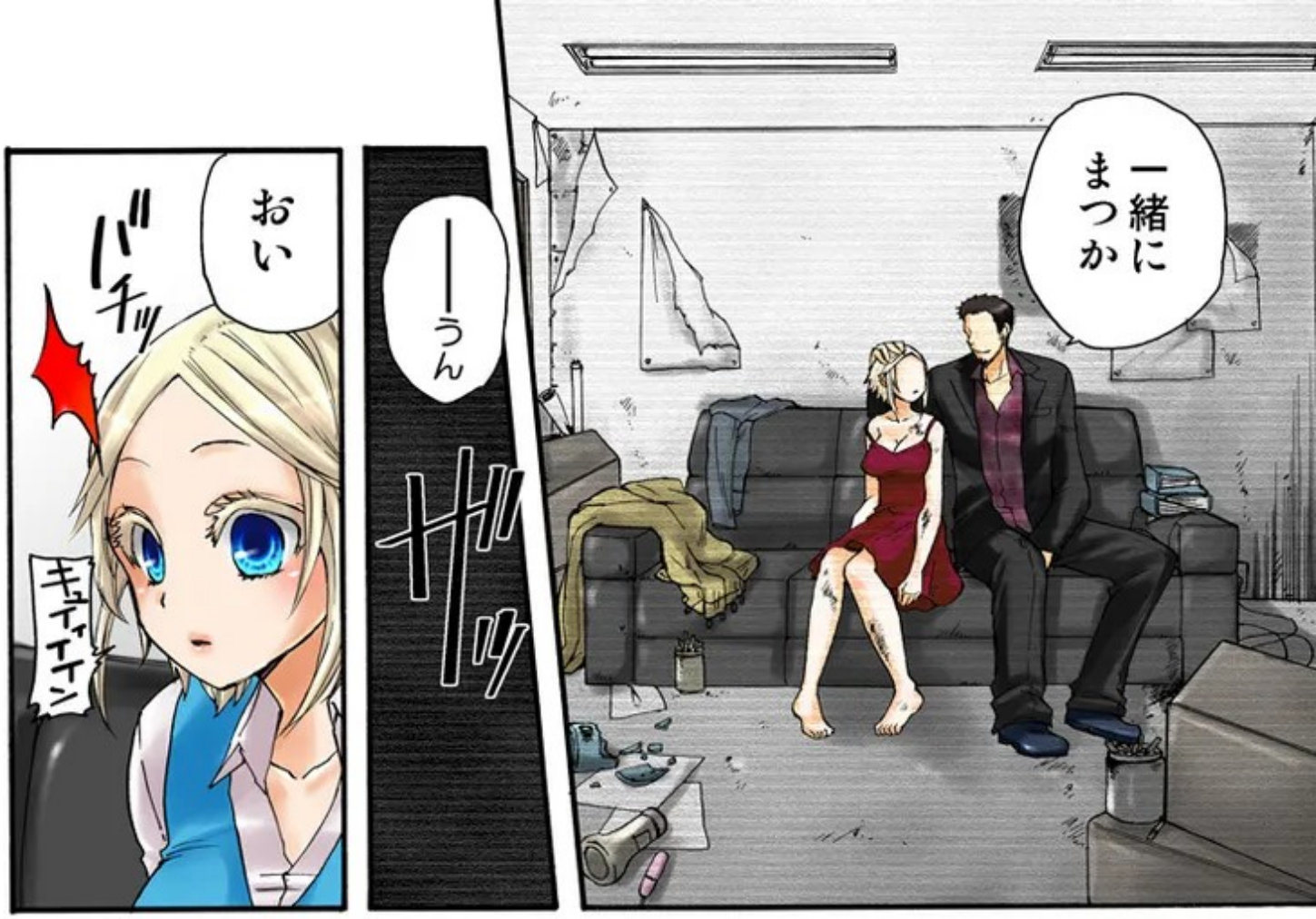

ふ
あ
うっわぁ～～♡
本当に嫌そう
～～～っ
そんなこと…っ
つ
ふ
ない
からぁ
ん――
ひや
じゃあ抜いてあげようかな
――んあ
やっぱやめた♡
ゴイッ
～～～!!
ヒッ
ハッ
やっ
はっ
ハッ
ほらもっと気持ちいいって顔して
カハッ
ハ
ヒュ


体はこんなに気持ちよさそうなのにね
ふう
あっ
んっ
ムニュッ
アッ
あ
コリコリッ
ゲチ
ゲポ
ね 店長さんとどっちがいい？
響一は
ハッハッ
グルッ
ぐい
キュッ
しない…っ
え
じゃあご主人様がいなくなってからしてないの？
し
てないっ
そっかあ
だからこんなにオレのに吸いついてるんだ
ひゃっ
コッ
ぐりゃっ
ぐりゃ
ブルンッ
プリュ
あひっ
アッあ
ちゃっ
中で出すよ？いいよね？
ガッ
ふぐっ
んっ
う〜〜ッ
ほら

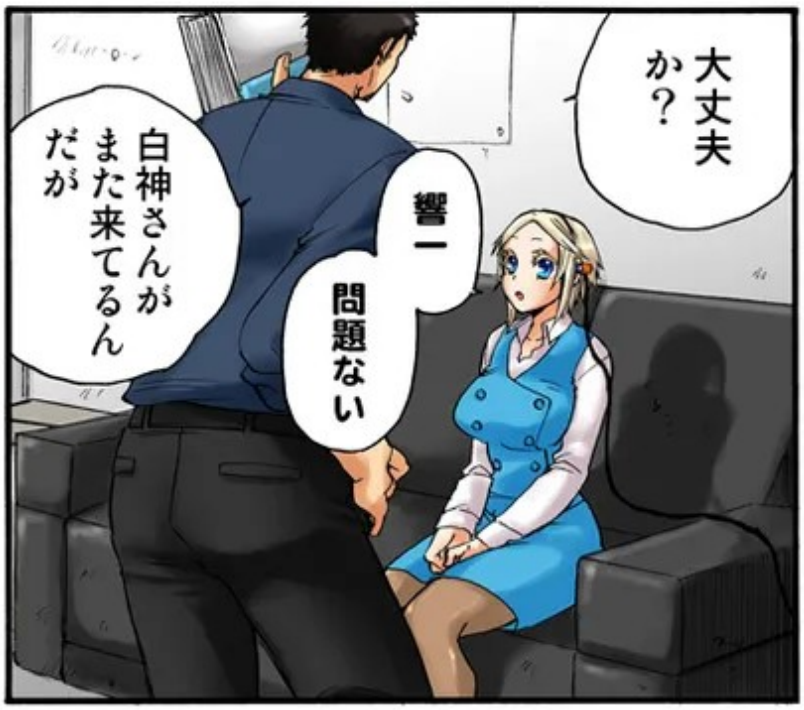

ビッ
ビクッ
ビクッ
ビク


響一
ガタッ
ブル
おつかれ
大丈夫か？
充電が
切れる
あ
そうか…
じゃあ
コードを
スリープ
モードに入る
ブッ
ぽすっ
と
ニ〃
――…
ご主人はもう
ご主人じゃない
お店（ココ）で
するなら
じゃあ
何で
お前は
ここ
にいるんだ？


ガタッ
ブッ
キュィィィィン
ガチャッ
バンッ
やっぱり
いないか…
ガタッ
あいつ…
どこに行き
やがった…
！
お前…
あいつの
ロボット
だよな
おいていか
れたのか？
ご主人
…
あいつなら
逃げたよ
全部ほおって
……
――
そうだな

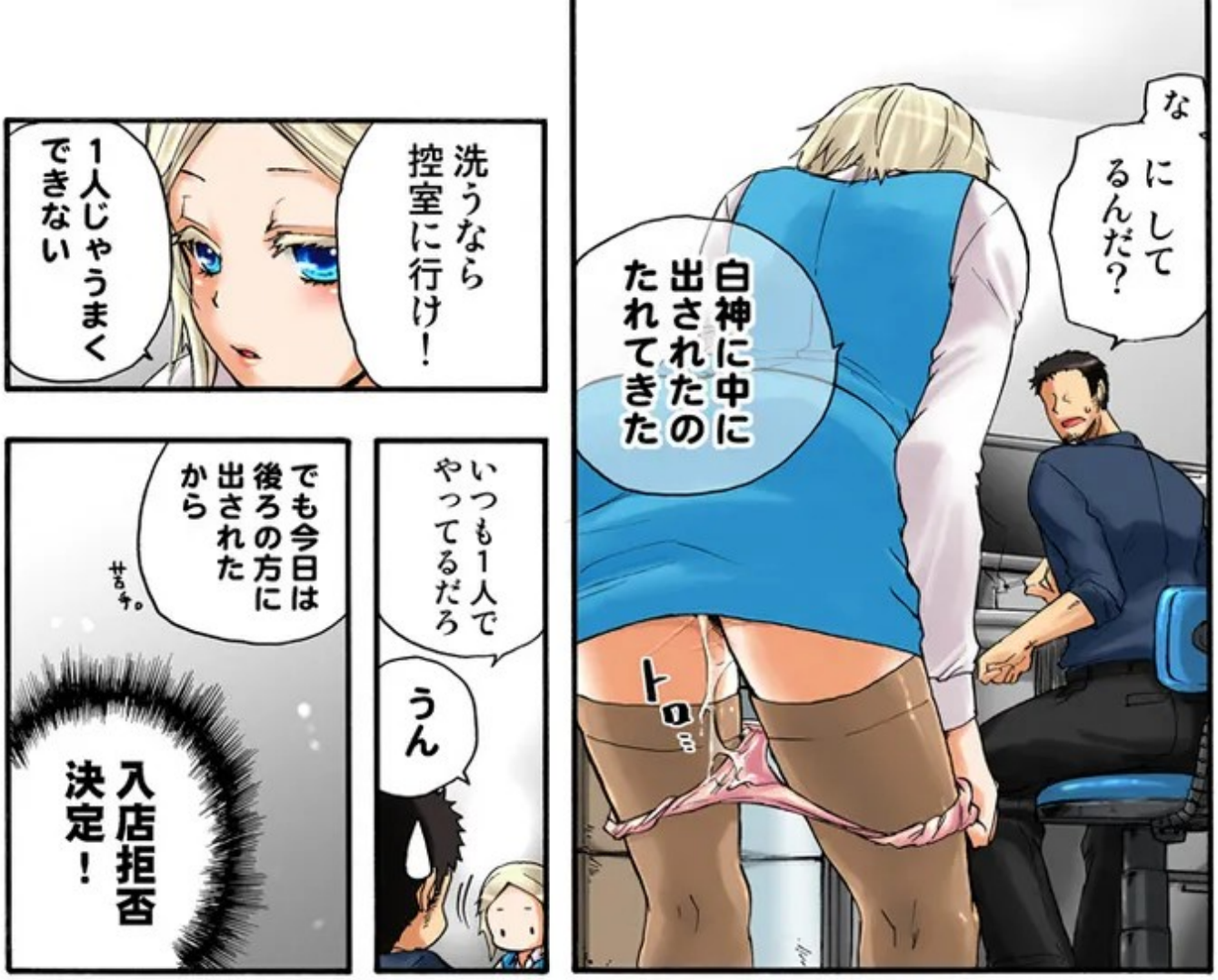

一緒にまつか
――うん
おい
バチッ
キュィィィン

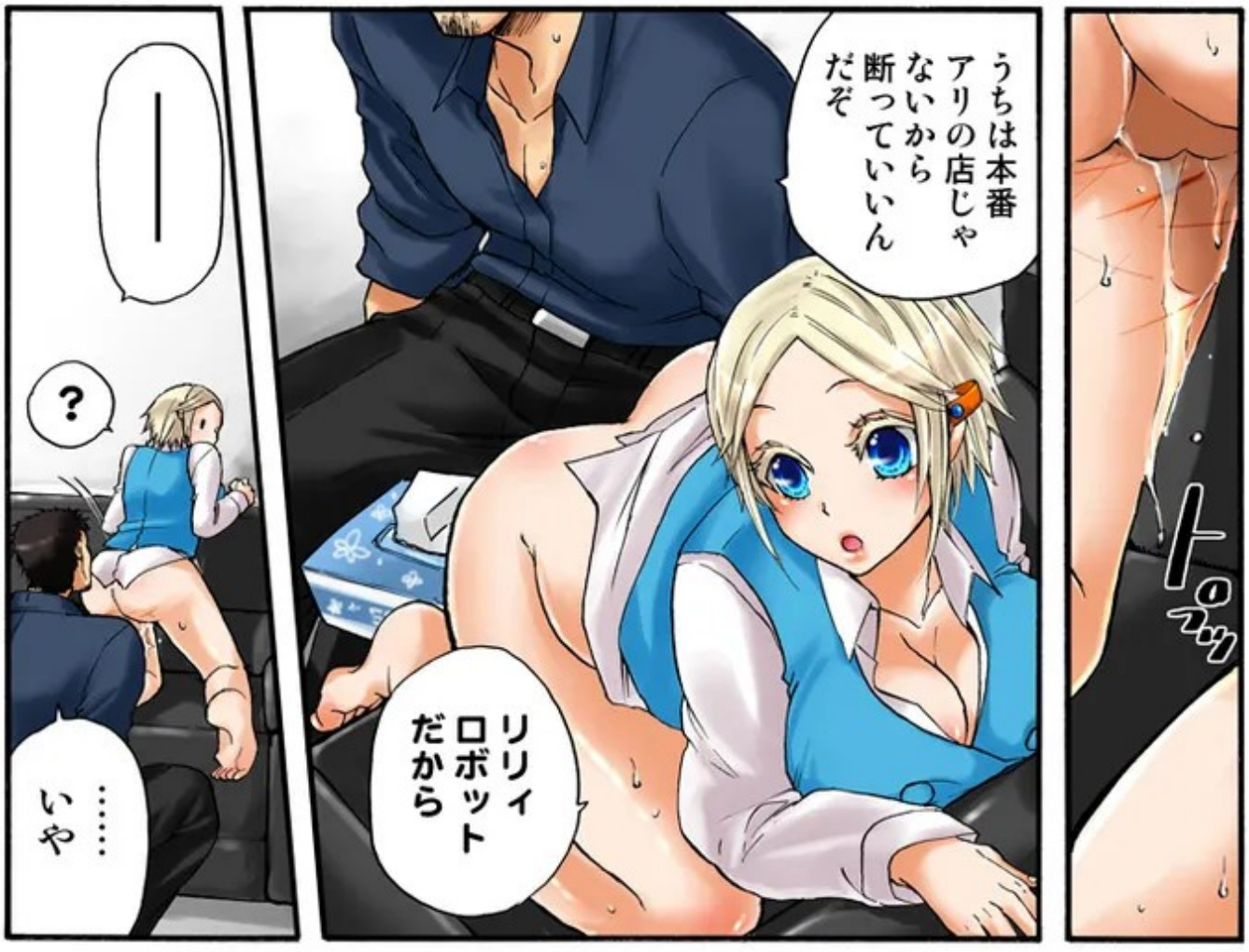

調子が悪いなら断っても…
問題ない
ブッ
フッ

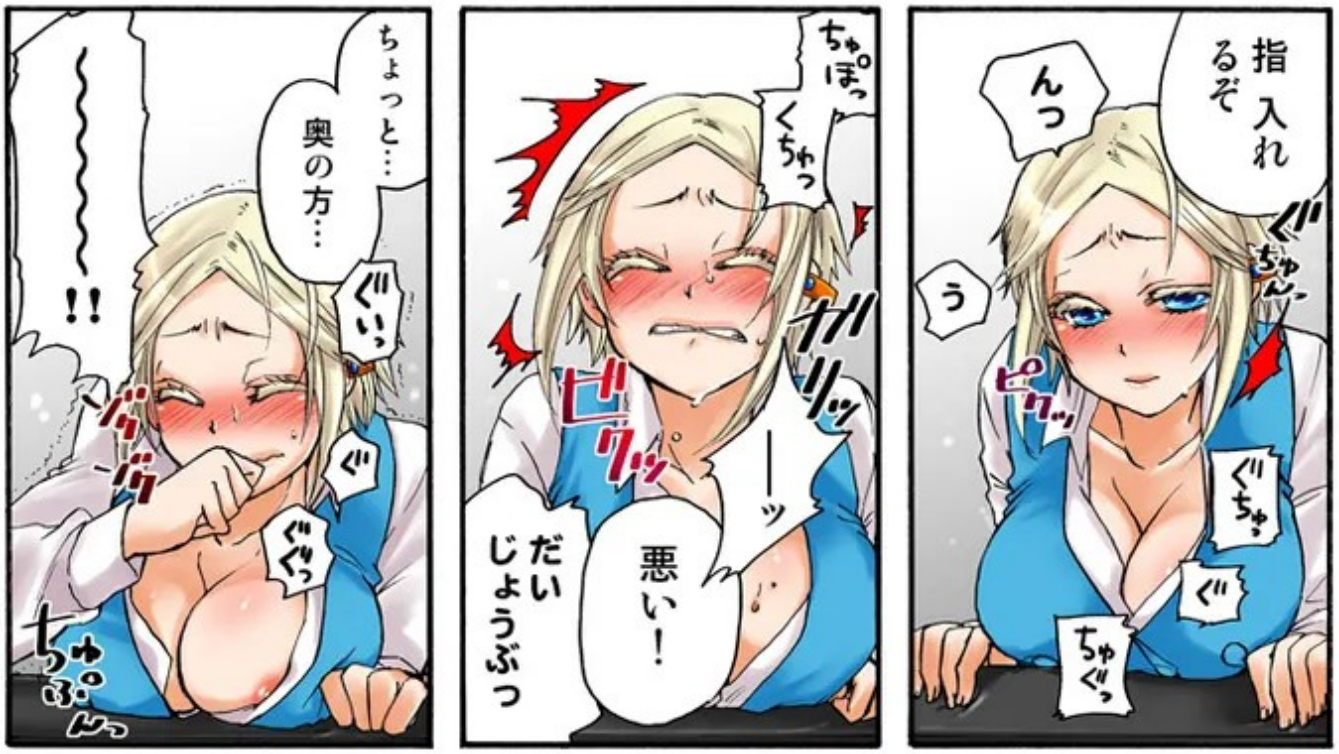

大丈夫か？
響一
問題ない
白神さんがまた来てるんだが


……4号室な
チャリ
うん

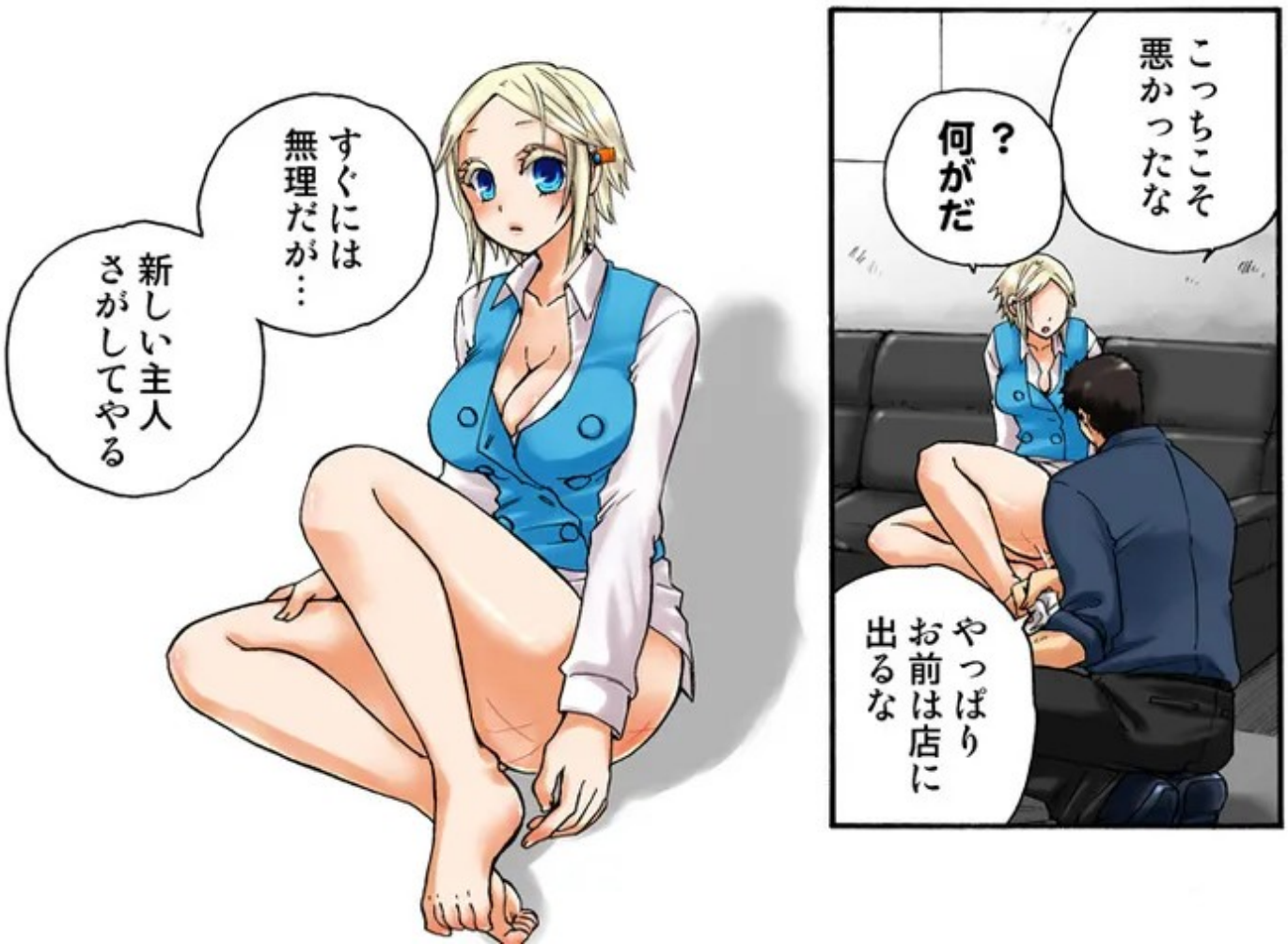

パタッ
パタパタ
すっかり働き者ねリリィちゃん
何の用だアスカ
バサッ
ま 店長がいいならいいけど
…控室にもどれ
ハイハイ
バタン
おつかれさまー
おつかれー
ガヤ
ガヤ
またねリリィちゃん
うん
話が――!!
カタッ
？
カタッ
……
おい


なにしてるんだ？
白神に中に出されたのたれてきた
トロ…
洗うなら控室に行け！
1人じゃうまくできない
いつも1人でやってるだろ
うん
でも今日は後ろの方に出されたから
せちゃ。
入店拒否決定！

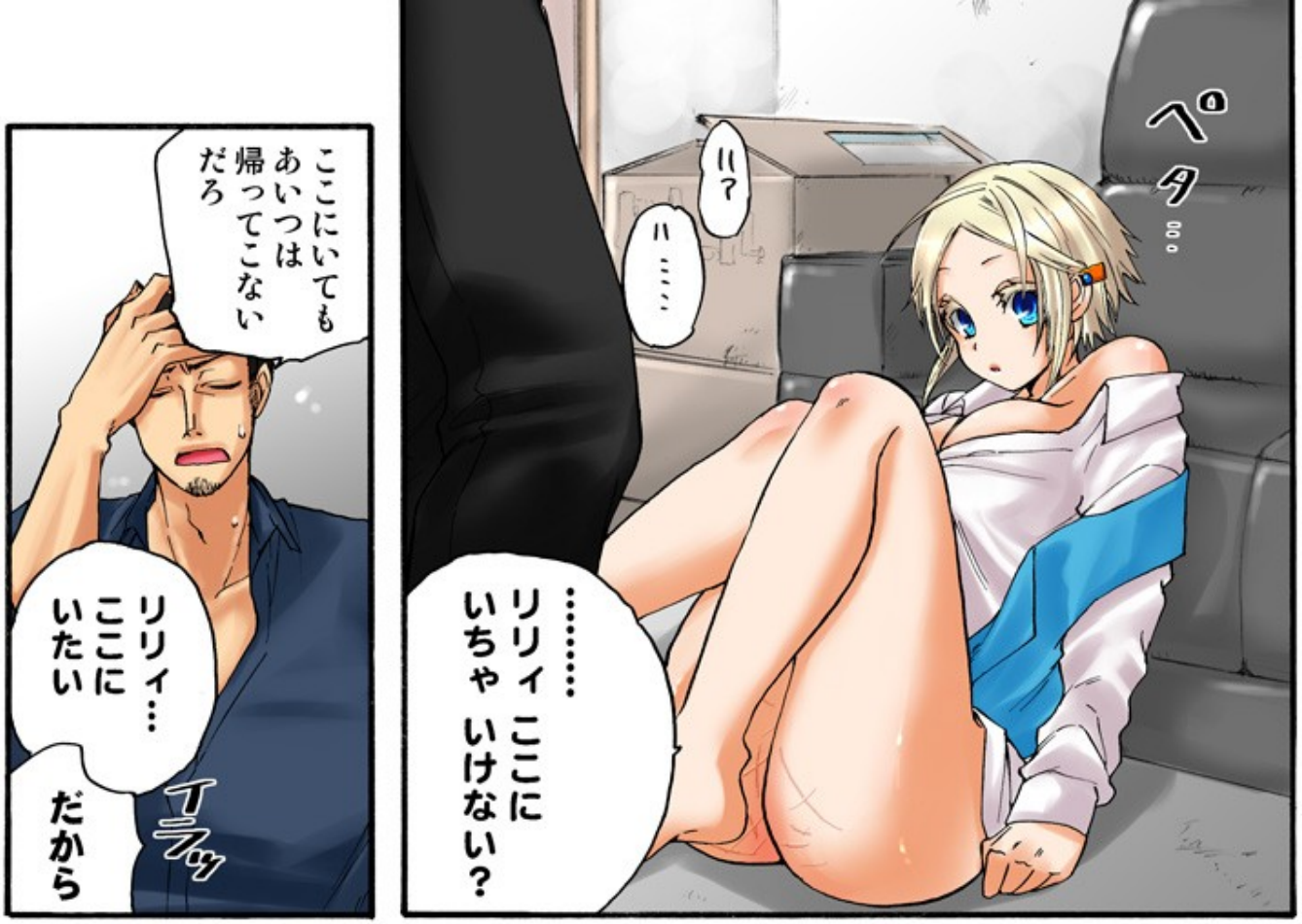

うちは本番アリの店じゃないから断っていいんだぞ
リリィロボットだから
トロ～ッ
？
――
……いや


指入れるぞ
んっ
う
ぐちゅ
ぐ
ちゅぐっ
ぐちゅ
ピクッ
ちゅぽっ
くちゅっ
イリッ
ビクッ
――ッ
悪い！
だいじょうぶっ
ちょっと…
奥の方…
ぐいっ
ぐ
ぐりぐり
ぐりぐり
!!
ちゅぷんっ

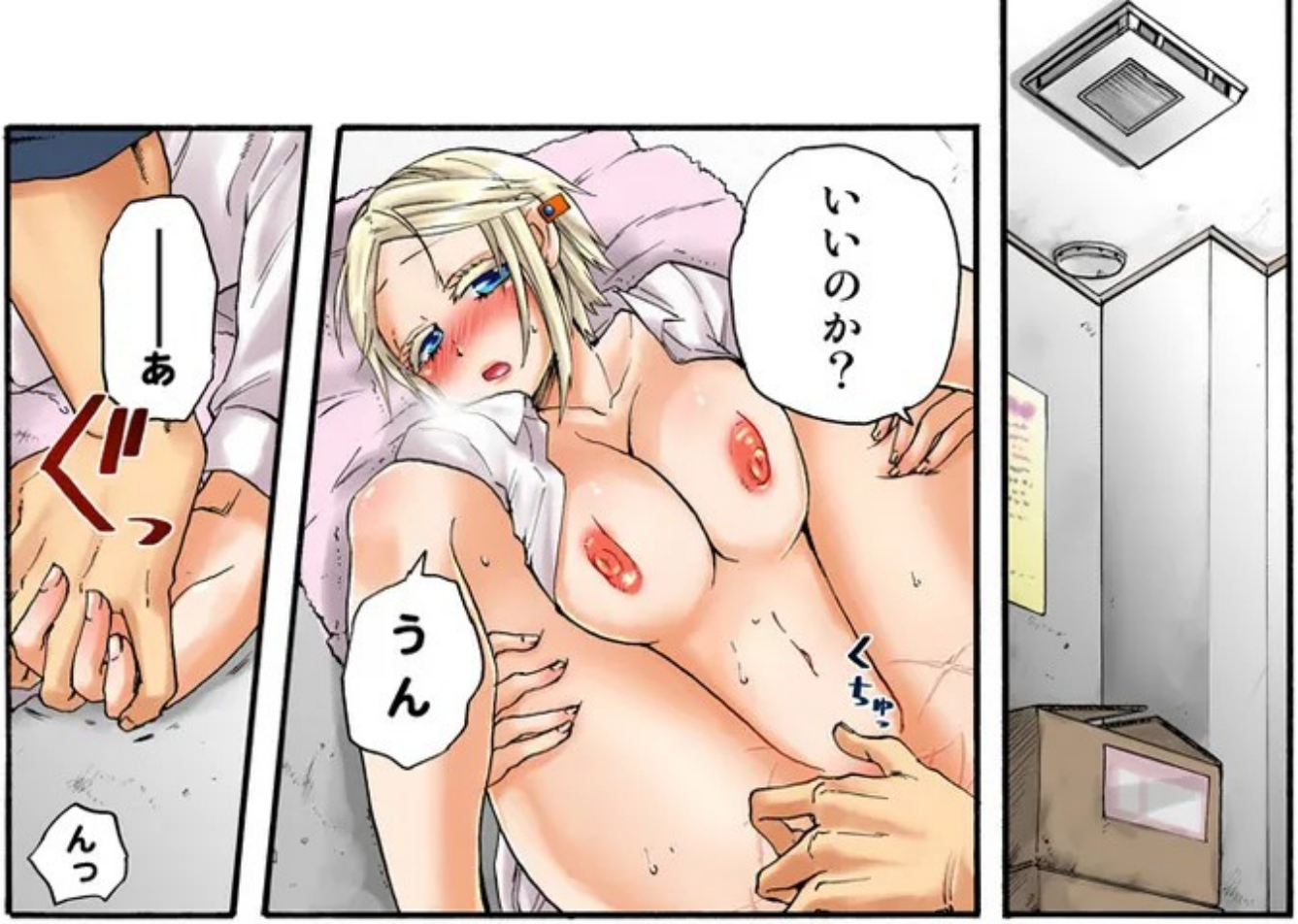

カサッ
ほら 大体こんなもんだろ
はぁ…
はぁ…
すまない
いや


こっちこそ悪かったな
？何がだ
やっぱりお前は店に出るな
すぐには無理だが…
新しい主人さがしてやる

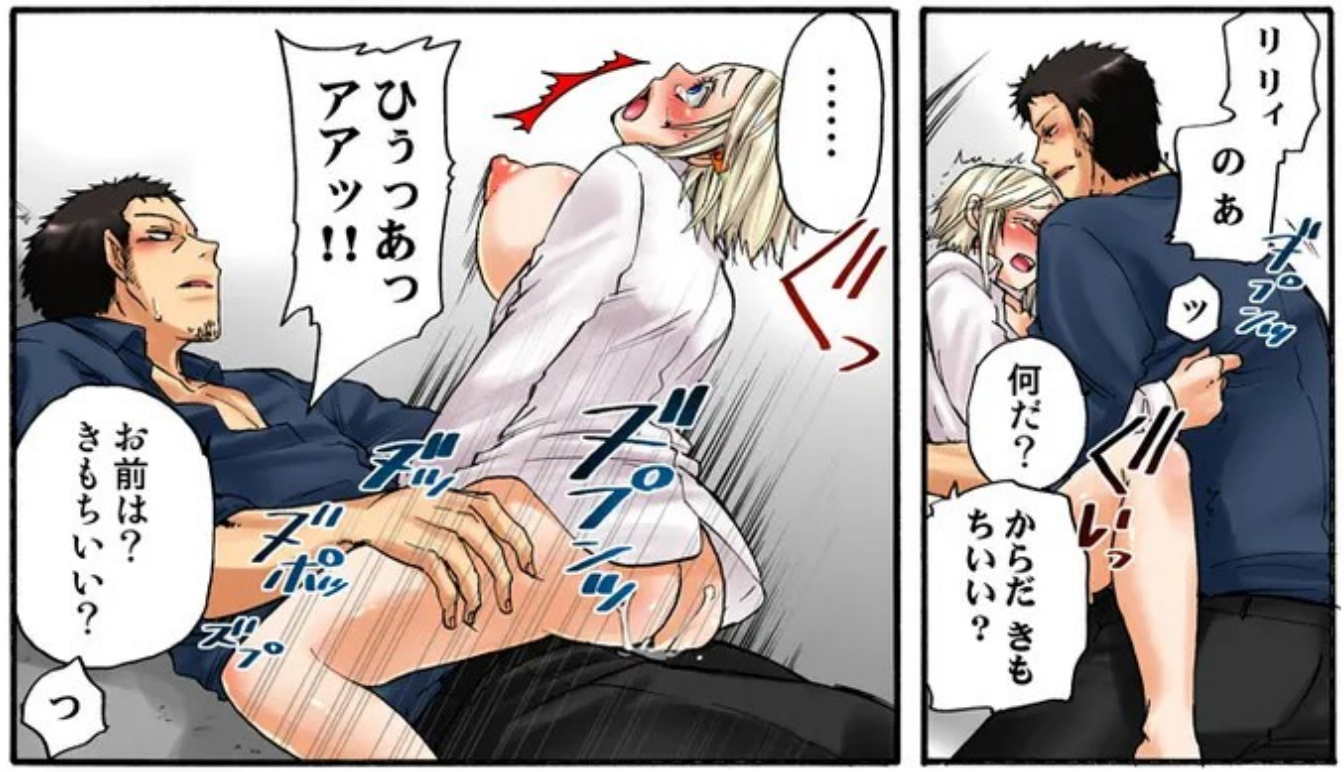

リリィ役に立たなかった？
ちがう
キュル
そうじゃな…
——ッ！
ガタッ
何をっ
むぎゅっ
リリィきもちいいこといっぱいできるよ
カチャ
ちゅっ
ゾクッ
——ッ
必要ない!!
ぐいっ
——ん
やめろ!!
ガタンッ

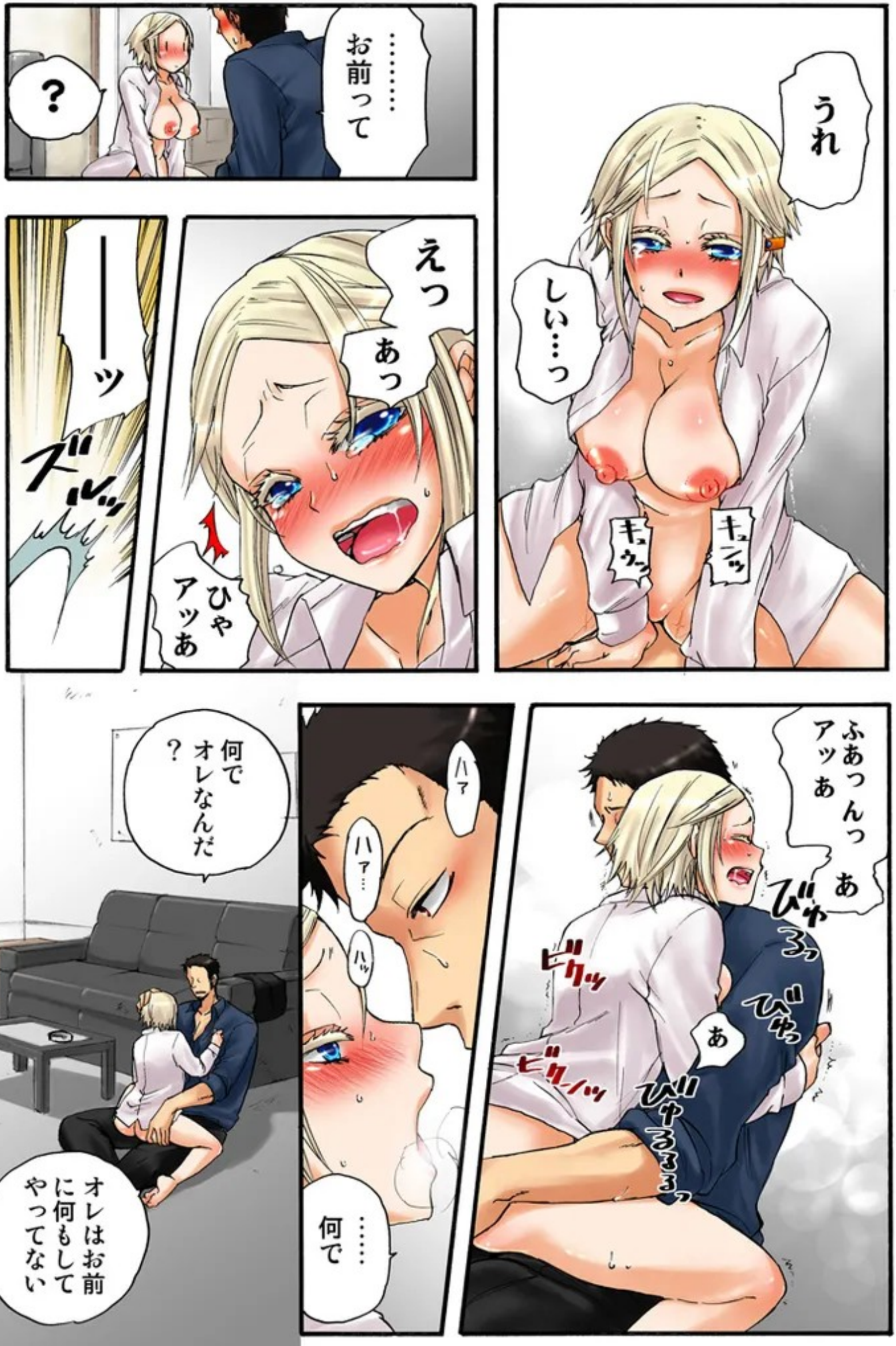

ペタ…
!?
!!…
……リリィ ここに いちゃ いけない?
ここにいても あいつは 帰ってこない だろ
リリィ… ここに いたい
だから
イラッ


あいつ はもうっ
フッ
!
お前——
知ってる
けど 響一と 一緒にいたい


いいのか？
うん
くちゅっ
——あ
ぐっ
んっ

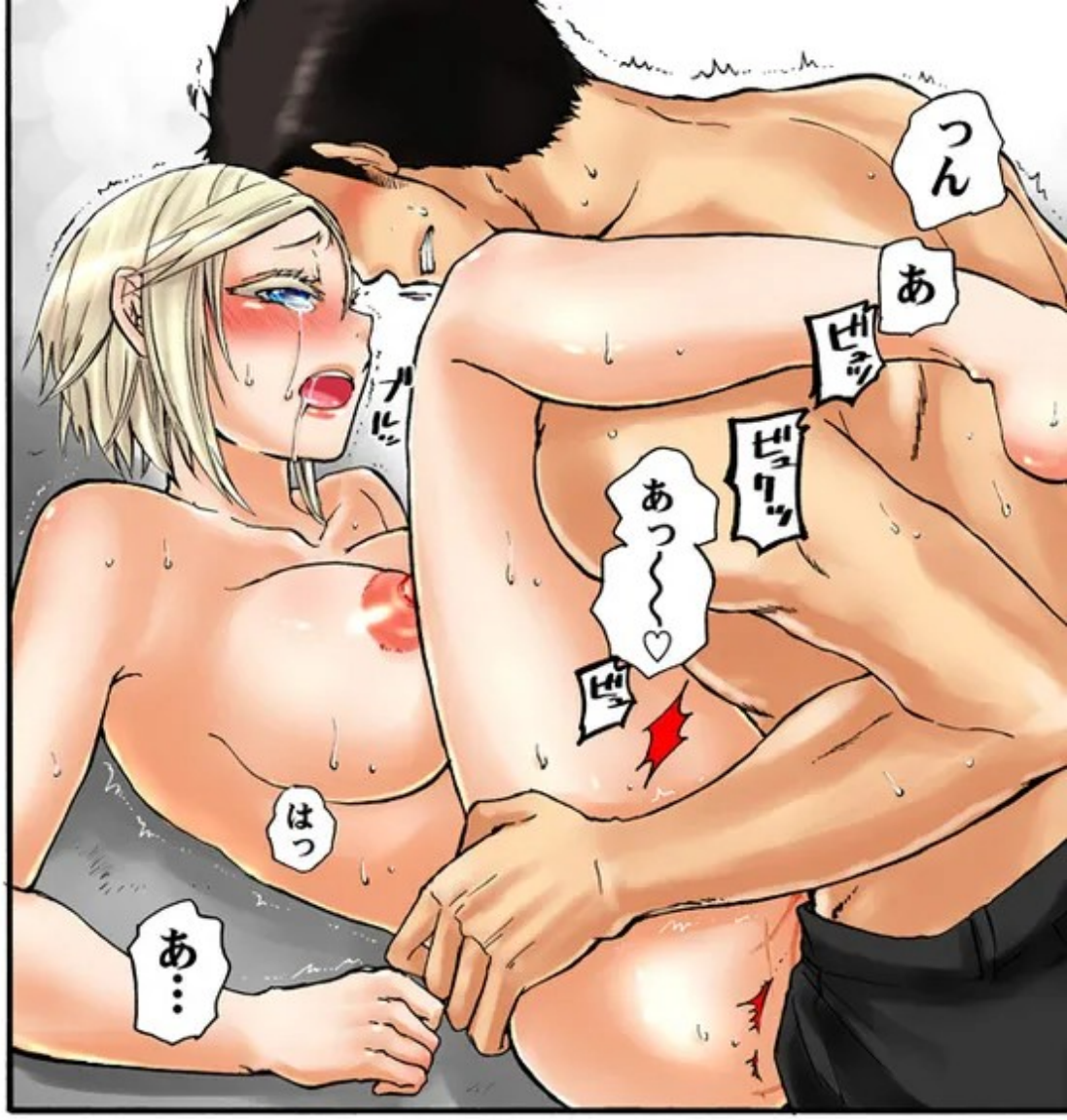

ふ
あっはっ
ツアッ
ずぷっ
ずちゃっ
きょう
いっ
きょう
いちっ
ブッブッ


リリィ
のあ
ッ
何だ？
からだ きもちいい？
ズプッ
ぐぐっ
……
ひうっあっ
アアッ!!
お前は？
きもちいい？
っ
ブプッ
ズボッ
ズプ


うれ
しい…っ
キュッ
キュウッ
えっ
あっ
ひゃ
アッあ
——ッ
ズルッ
……お前って
？
ふあっんっ
あ
アッあ
びゃろっ
ビクッ
びゃっ
あ
ビクンッ
びゃろろっ
ハァ
ハァ…
ハッ
……何で
何でオレなんだ？
オレはお前に何もしてやってない


響一は
頭なでてくれた！
……それだけ？
うん
リリィの頭なでてくれたの響一だけ
すごくきもちよかった
……そっか
うん
響一
うん？
もっと…
響一もっとほしいの…
うん


好きなだけやるよ
ちゅぷっ
あっ
ちゅぷっ
ふっ
ちゅぽっ
かいうアッ
ぬぷっ
ああっふぁ
ゾクゾクッ
コッツッ
コチュッ
ビクッ
ビクッ
中で出すぞ
ブプッ
ビクッ
ビクッ
ふうぅ〜〜〜♡
ビュッ
そんなことしなくていいんだぞ
ん…
ちゅっ
ちゅぽっ
いいの
にゃるっ
リリィ響一がきもちいいのが一番うれしい
ブチュッ
ひぅ
ブッ
ブブッ
ぁあっ
アッ
ブッ
あう
ビクッ
ビクッ
もブッう
いくのおっ
いっちゃうからあっ
ビュクッ
ビュルル
ふっ♡
ビュルルルッ
あっ♡



で

何でまた受付やってるわけ？

じっ

そーだよー何でもう指名できないのー

白神さんうるさい

リリィもう店長のものだから

ガチーン

店長…

何だよ!!

え――じゃあオレはー？

白神さんどのみち入店拒否なんで

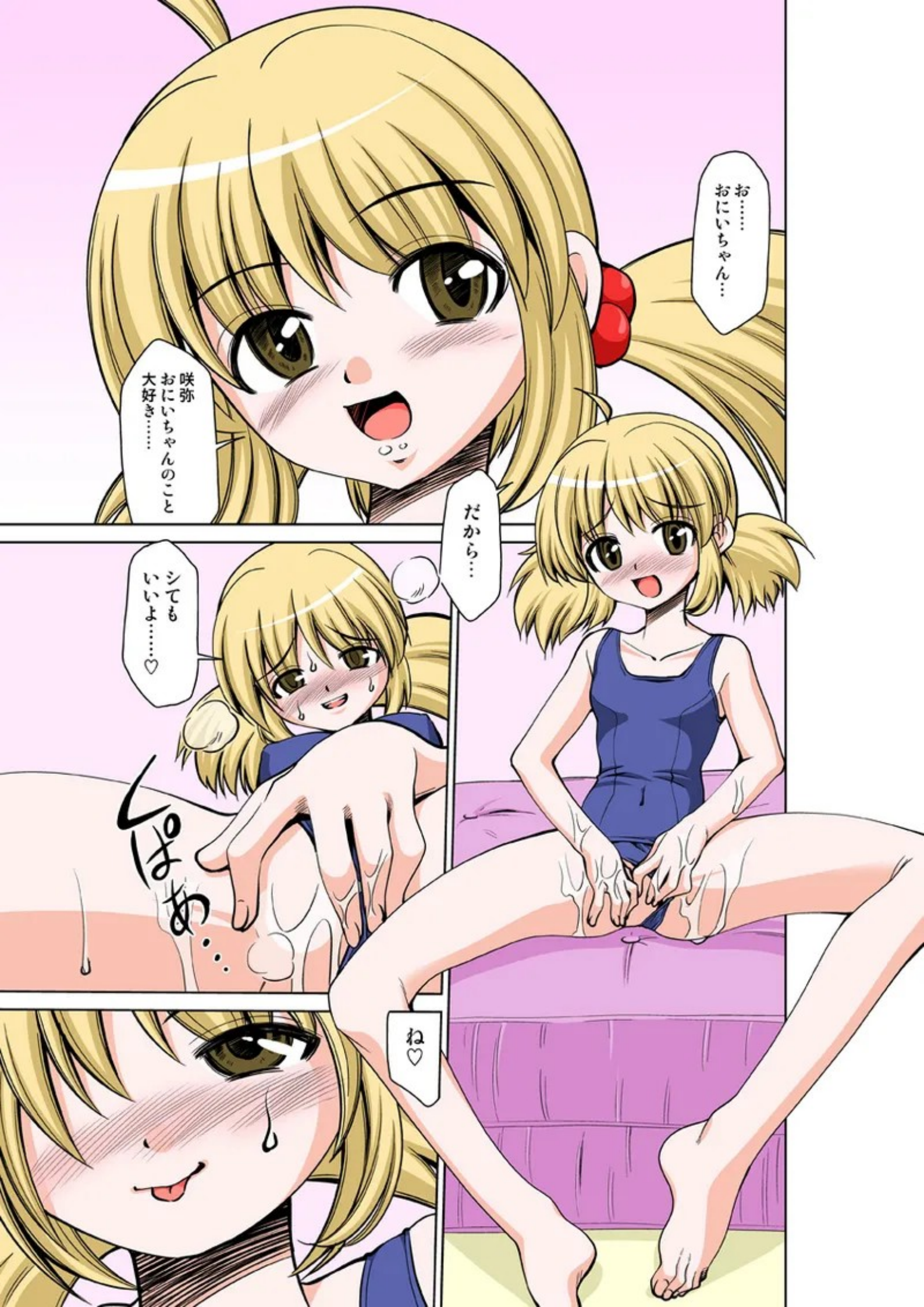
ちょっ

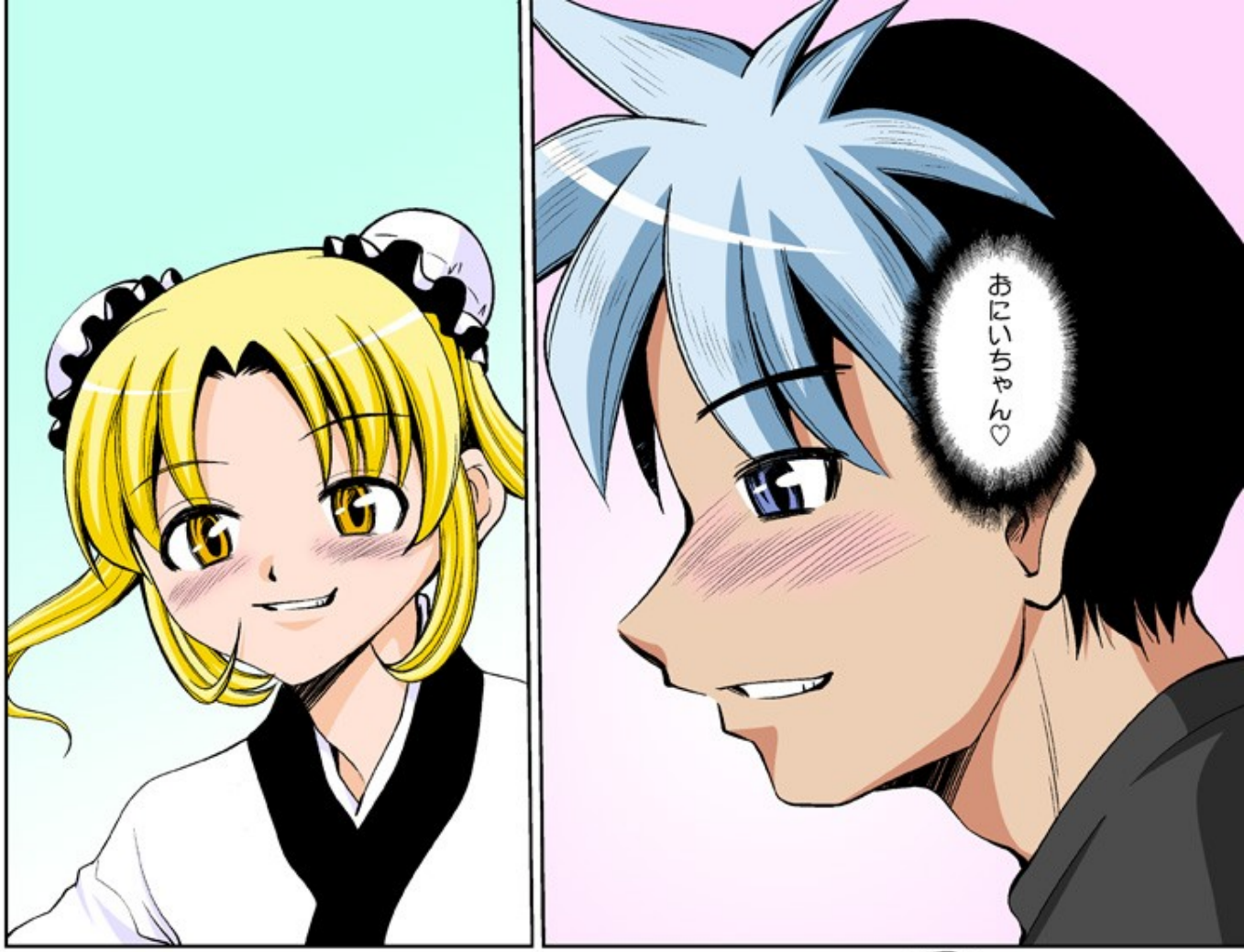
西口食堂

ナカまで憑いて♥



みずきひとし

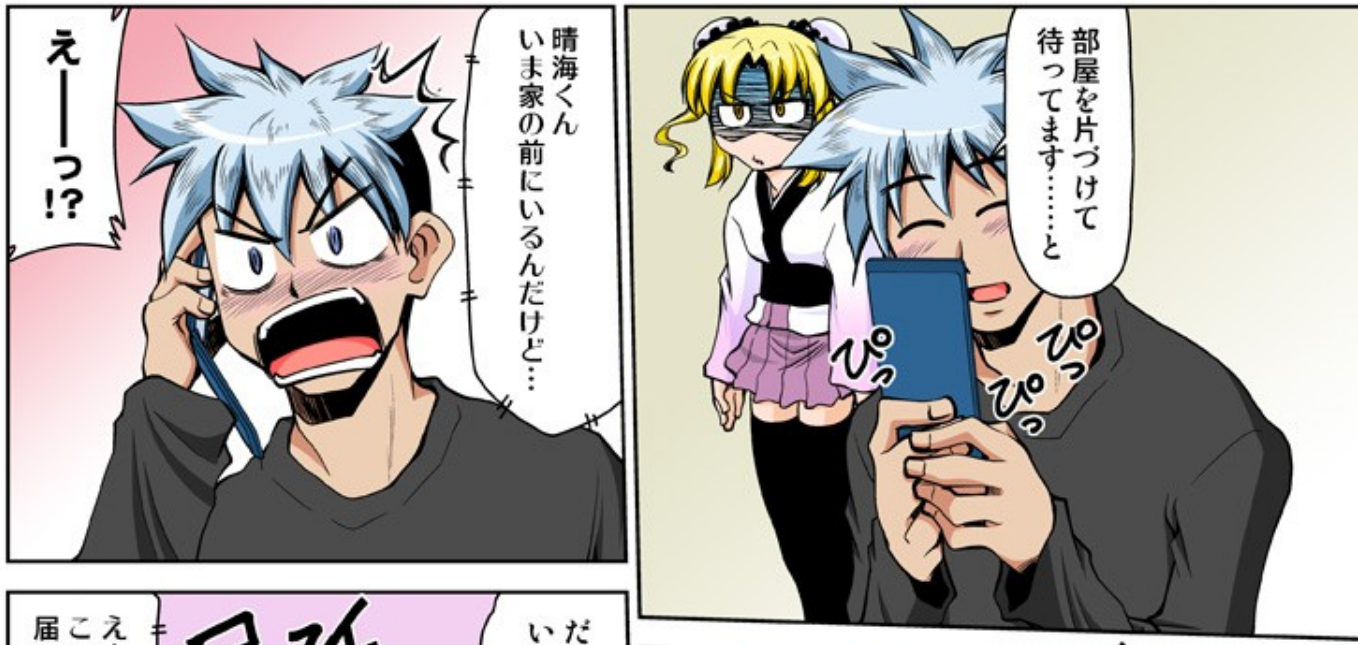

お……
おにいちゃん…
咲弥
おにいちゃんのこと
大好き……
だから…
シても
いいよ……♡
くぱぁ…
ね♡

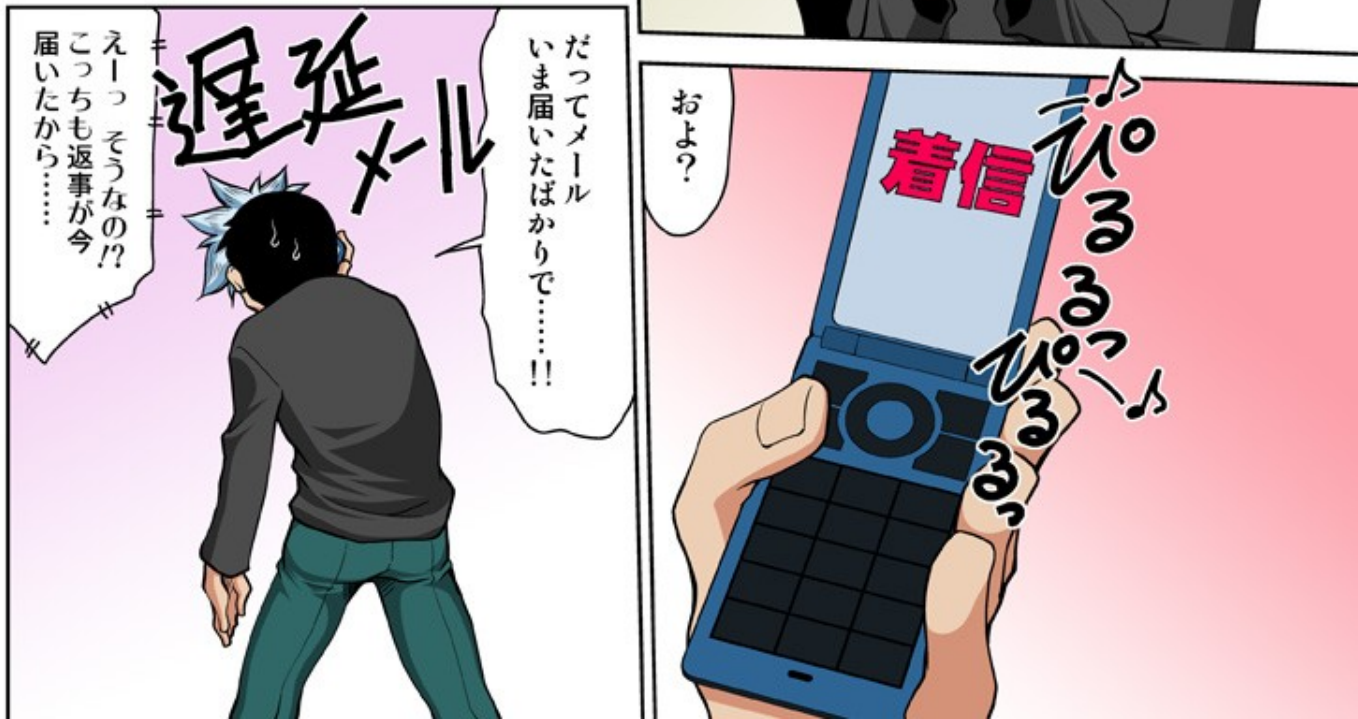

おにいちゃん♡

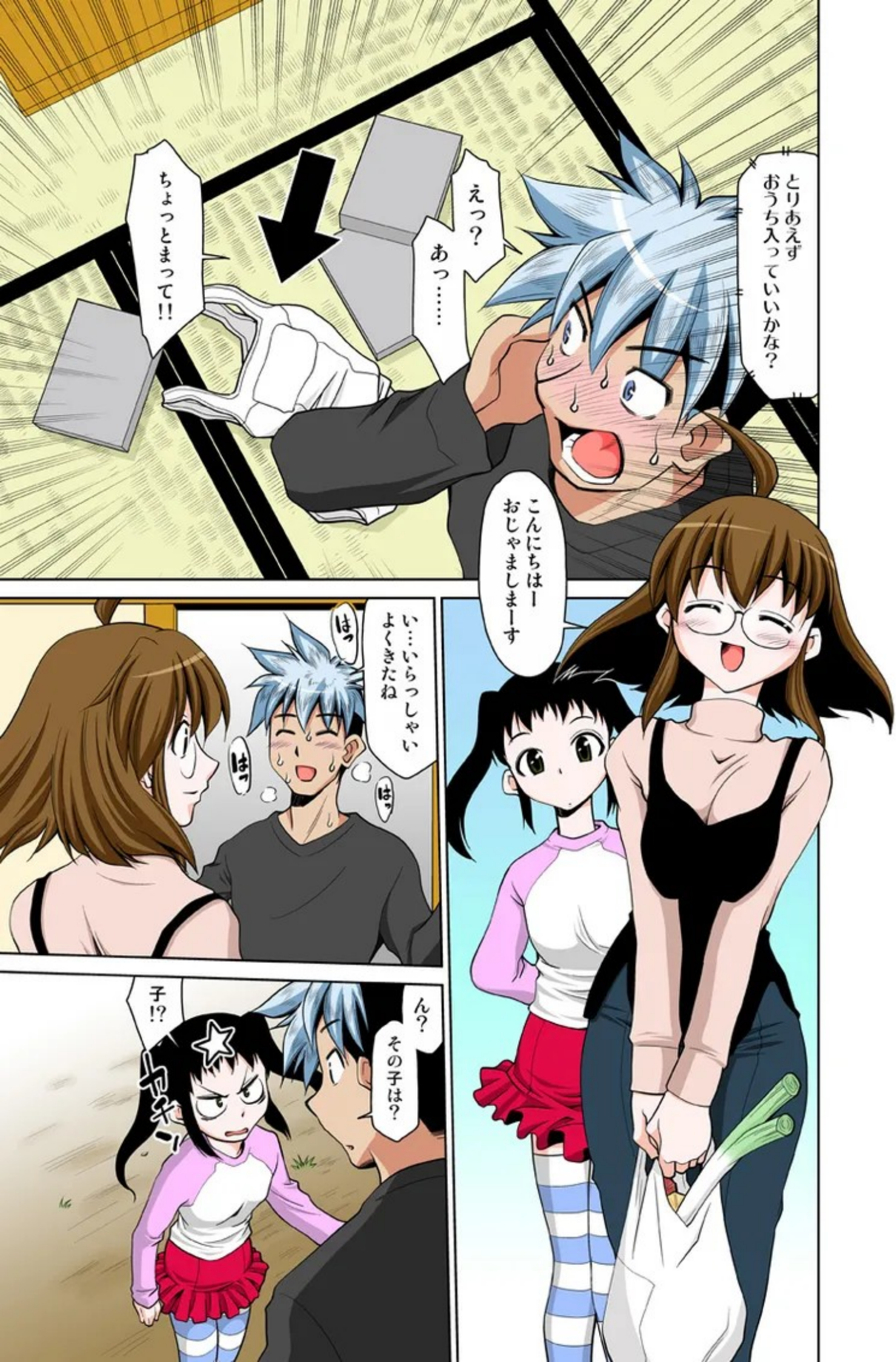

またロリコンゲームかい晴海？
失敬な！


本当に晴海はロリものが好きよのう
ちがうって言ってるだろ！
白スクーっ
このゲームは初回特典にこれがついてるんだよ!!
スク水なんて自分じゃ恥ずかしくて買いに行けないだろ！
手に入れてなにすんだよ……
白スク水は人類の宝！
オタクにとっては幻の秘宝なんだよ！
わかったわかった！
てなわけでふう様これ着てくんない？
とり殺すぞ!!このたわけが!!
めるるっ
めるるっ
ん？


晴海くん、今日は
ごはんを作りにそちらに
行ってもいいですか？
友美ちゃん……
ぽわーん


部屋を片づけて
待ってます……と
ぴっ
ぴっ
ぴっ
晴海くん
いま家の前にいるんだけど…
えーっ!?

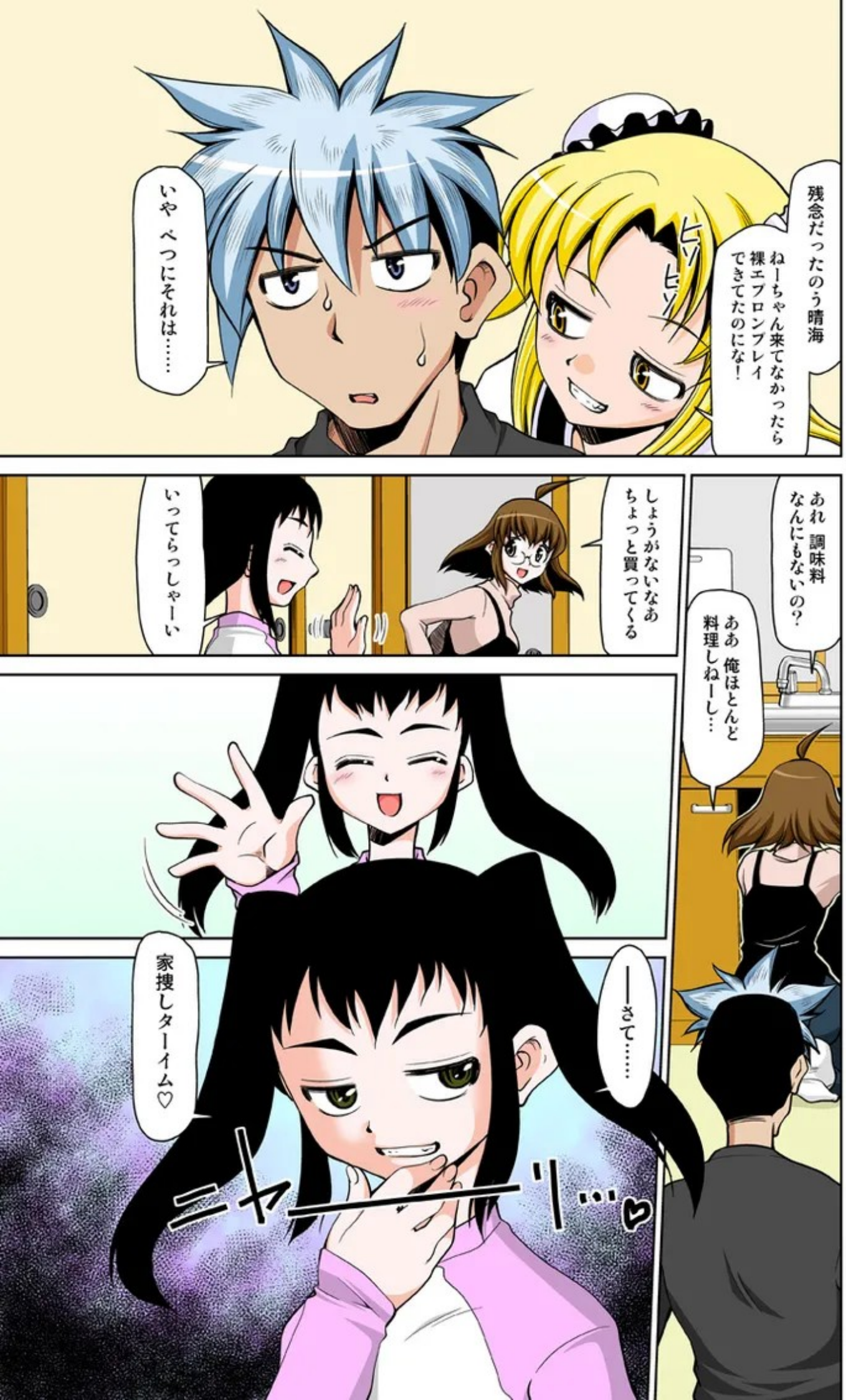

およ？
着信
ぴるるっ♪
ぴるるっ♪
だってメール
いま届いたばかりで……!!
遅延メール
えーっ そうなの!?
こっちも返事が今
届いたから……


とりあえず
おうち入っていいかな？
えっ？
あっ……
ちょっとまって!!
こんにちはー
おじゃましまーす
い…いらっしゃい
よくきたね
はっ
はっ
はっ
ん？
その子は？
子!?
ヤキ〜


誰が「子」だ
だれが!?
な…
なんでケリが…
こう見えても
おねーちゃん
24歳なんだよー


24っ!?
おねーちゃんっ!?
なんでっ!?
いやその…
どうしても
ついてくるって……
なあに?
あたしが
ついてきちゃ
悪いっての?
そーゆーわけじゃ
ないけど……


それじゃ
お夕飯作るねー
わーい♡


残念だったのう晴海
ねーちゃん来てなかったら裸エプロンプレイできてたのにな！
ヒソヒソ
いや べつにそれは……
あれ 調味料なんにもないの？
ああ 俺ほとんど料理しねーし…
しょうがないなあちょっと買ってくる
いってらっしゃーい
——さて……
家捜しターイム♡
ニヤ——リ…♡


おーおー
出てくる出てくる！
案の定オタクな
ゲームがいっぱいだ！
ばら
ばら
ばら
ばら
いやあああああ!!
やめてえええええ!!
お？
なんだこれ？
わあああああっ!!
ふ～～ん？
友美にこれ着せて
えっちなプレイしようと
してたんだろ？
この変態！
ちっ…ちがっ……
それはゲームの特典で……


でも残念だなー
あの子じゃこれは
小さすぎるぜ？
胸もでかいしな
うっ……
胸もでかいしな……
どよーーん……
もしもし？
……着てやろうか？
へ？

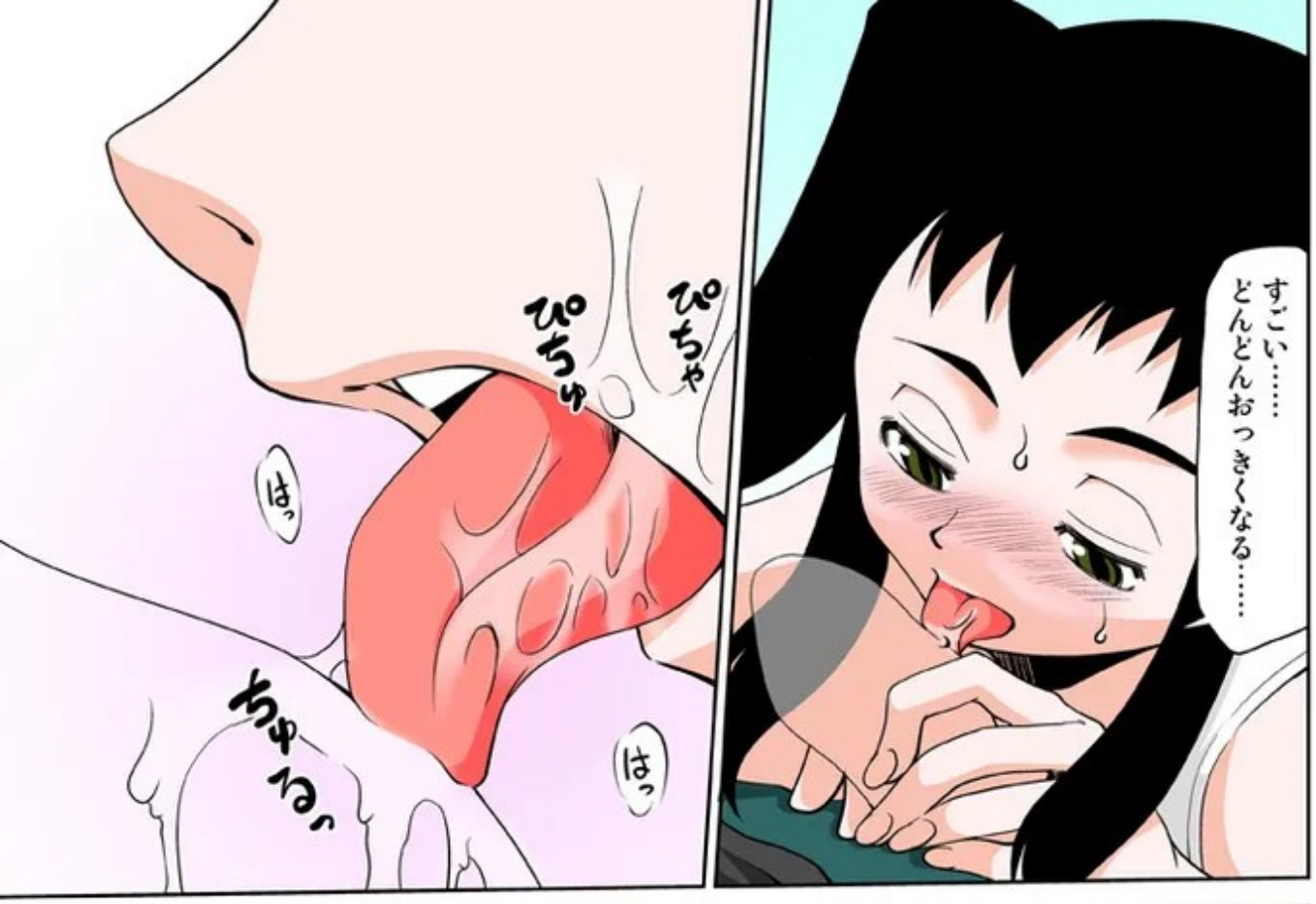

この白スク水
着てやろうかって
言ってんだよ！
え……
ええ――っ!?

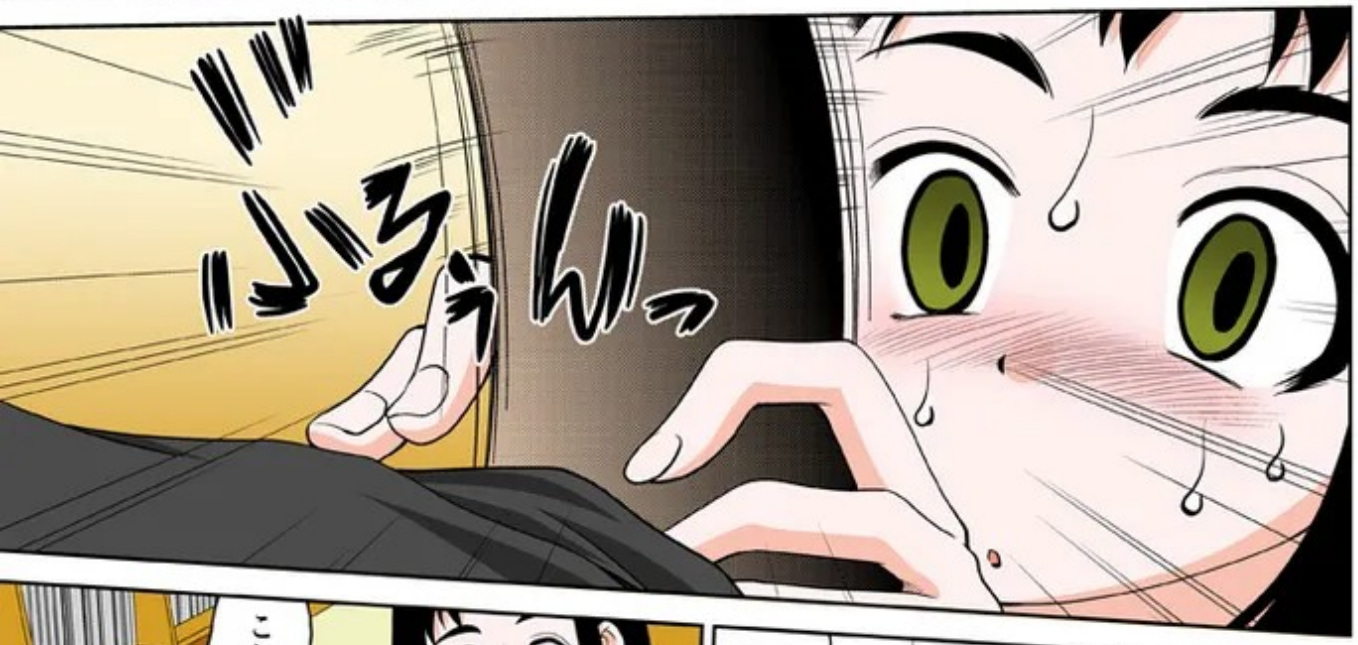

ど……
どうだ？
ぽかーん
プリーン
ペたーん
どうだ!?
はっ……
はいっ
すばらしいですっ!!


友美が え……
えっちしたなんて
言うからさ……
うらやましくてさ……
なあ ちょっと
していいか？
はへ？
いまなら友美も
いないから……な♡
すりすり
ちょ…
な!?
さわっ
カタく
なってる……
う…
うわっ!?
びくっ


へー
こんなになってるのか
ちょ……
……えっと
里見
藤原里見よ
ふわあ
これが
おちんちん…


だ…
だめだって……
うっ
うあっ
ペロッ


すごい……
どんどんおっきくなる……
ぴちゃ
ぴちゅ
はっ
ちゅるっ
はっ


ふるふるっ

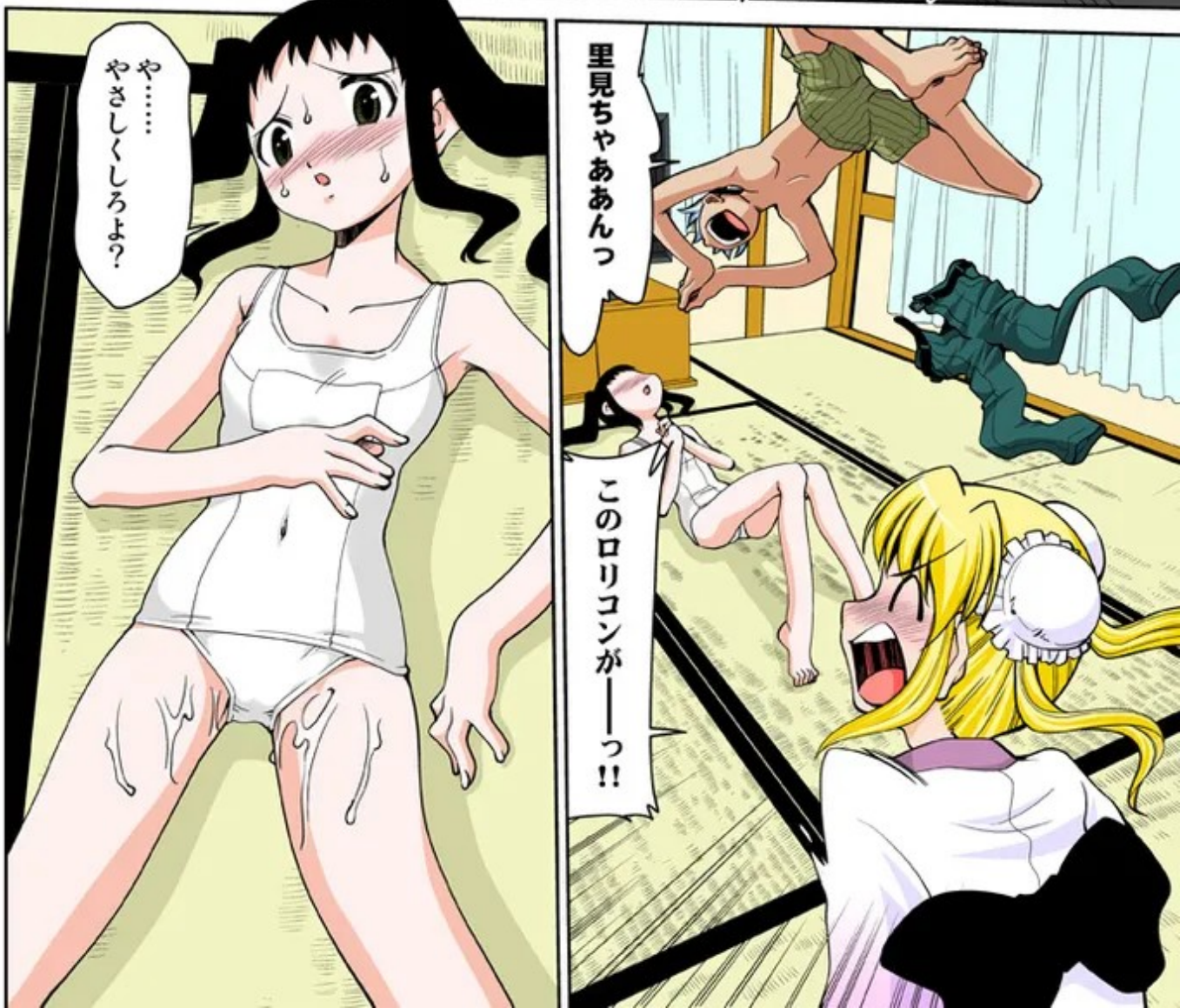

な……
なにこれ……
あの子こんなの
入れてたの……？
これがここに……


う～～～……
ええい！
女は度胸!!
ビリッ
痛っ
う……
ううっ…

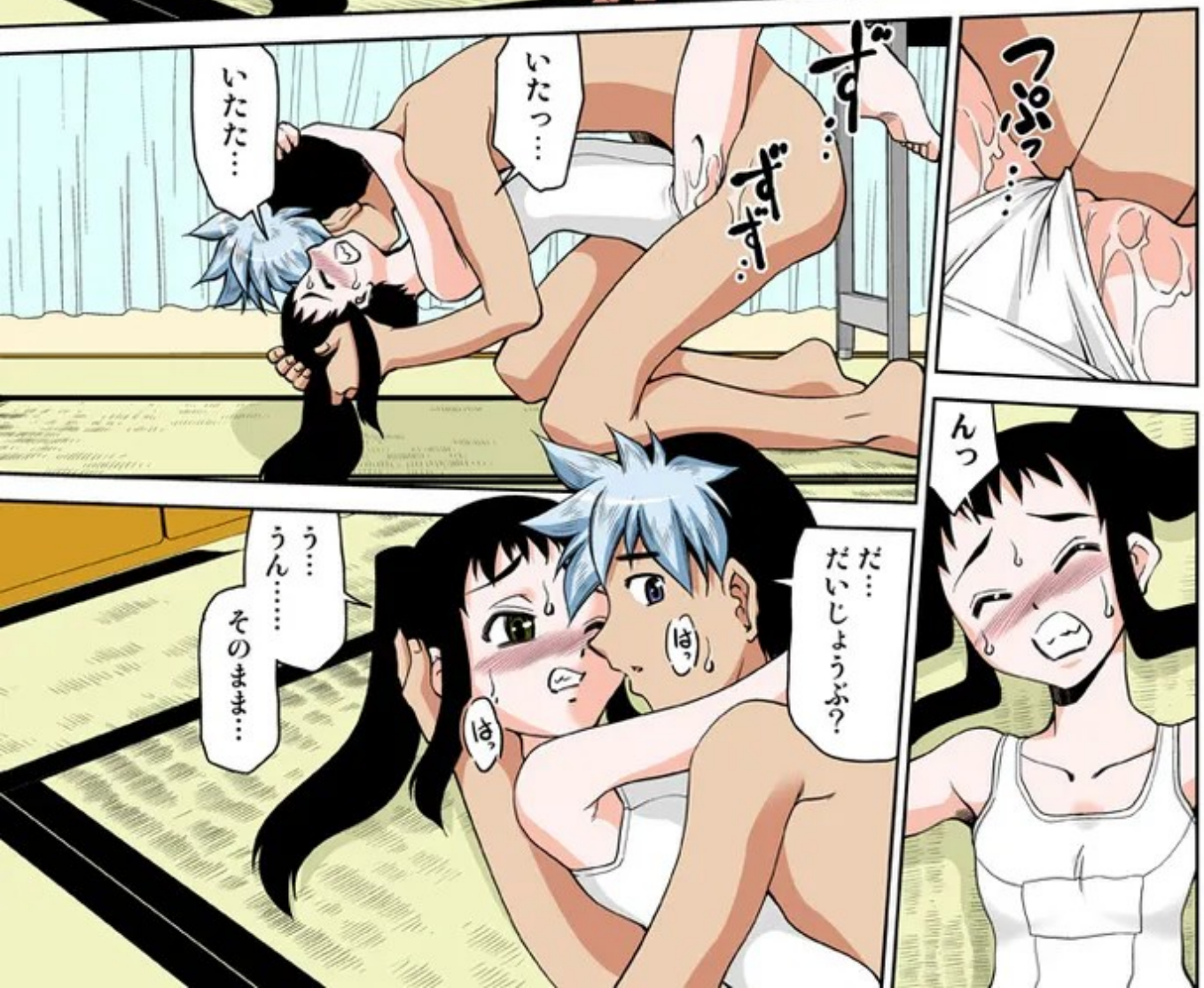

なあ晴海……
おまえが入れてくれ……
しぼむな

ええっ!?
なんで晴海がそんなにモテるんじゃ?
ムカムカ
俺が聞きたい……
ギャー
なあ だめか?


オキュウウン


や……
やさしくしろよ？
里見ちゃあんっ
このロリコンが――っ!!


オーケーオーケー
まかせとけ！


ずずっ…
いたっ…
いたた…
つぷっ……
んっ
だ…
だいじょうぶ？
はっ
はっ
う…
うん……
そのまま…


ズブッ
プチッ
ああああああっ!!
びくっ!?
ぜ……全部はいったよ……
や…やさしくしろって言っただろ……
こ……これはなかなかキツいな……
はーっ
はーっ
友美はこんなの入れまくってるのか……

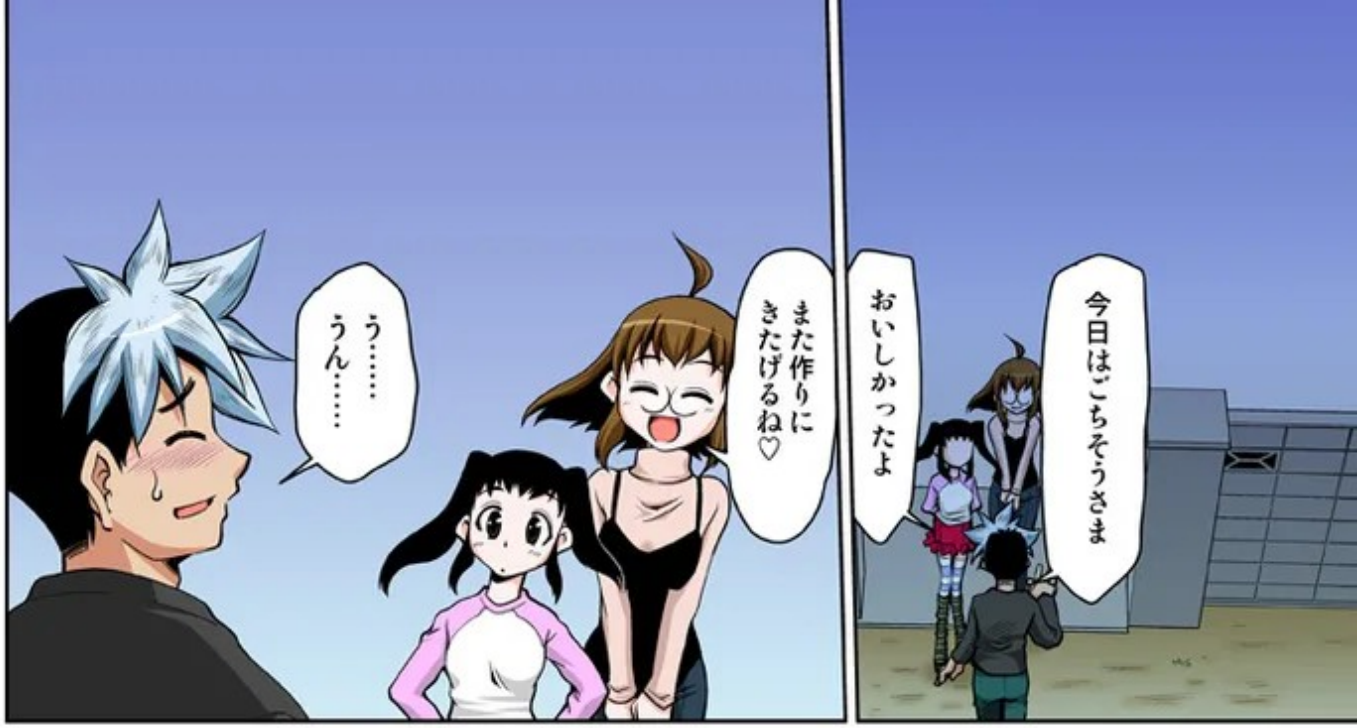

ふおおお!!
キツキツで
キモチいいーっ
あっ
ああっ!!
ちょっ
いたっ
いたいって!


こっ
こらっ……
はっ
ち……
乳首いじるな……
はっ
ふっ……
んんっ!!
さわ
さわ
さわ
さわ
ふわっ……
ふわわわっ!!
びくっ
びくっ


トロトロ
すっごい濡れてる……
もう動いても大丈夫でしょ？
う……うん……
あっ
ふあぁっ!!
あついっ
あついよおっ


あっ
あっ
ああっ
ぬぷっ
おちんちんっ
おちんちん
あついいっ
ぬるっ
ひっ!?


くるっ……!!
ガクガクガク
ガクガク
なにかくるよおっ!!
ああーっ!!


今日はごちそうさま
おいしかったよ
また作りにきたげるね♡
う……うん……


おまえなかなかよかったぞ！
また友美とくるぜ！
ヒソヒソ
あ……うん……
またねー！


どーすんだよこのロリコン！
間違いなく泥沼に踏み込んだぞおぬし？
ど……どうしよう……

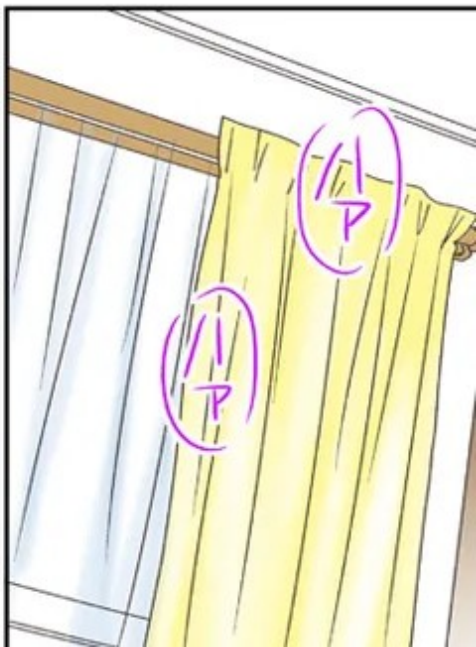

遊月恋歌
第2回
第3-4話：迷宮
ゆーきい

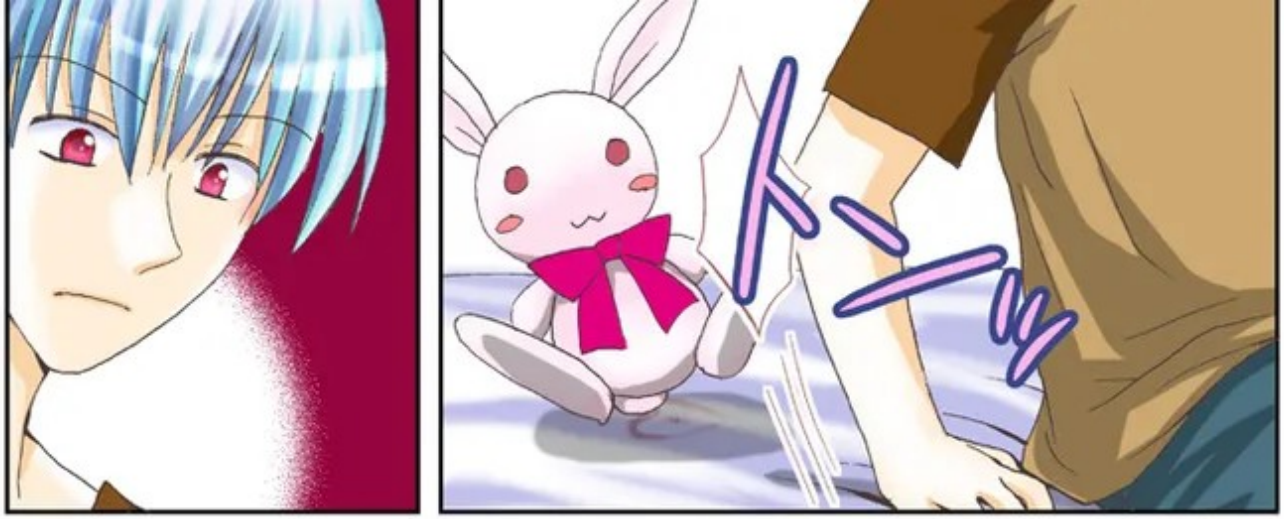

ん…
んんっ…
パン
パン
パン


ドク
ドク

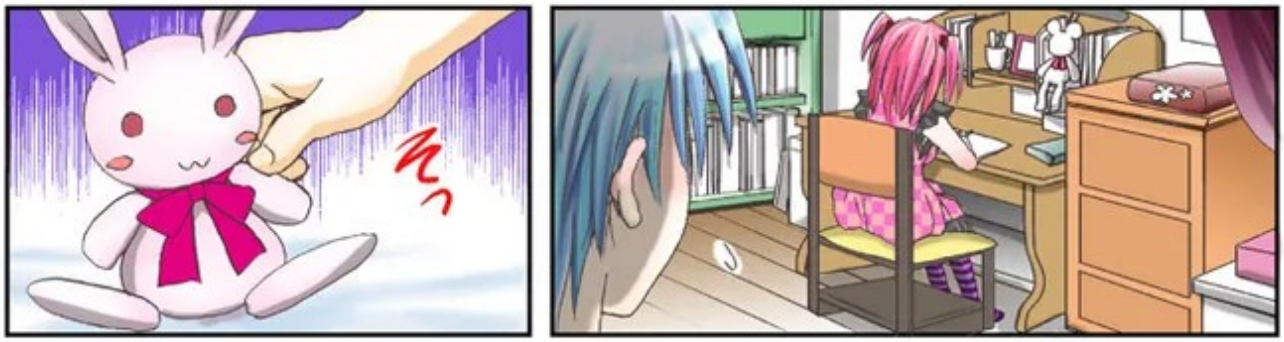

プル
プル
ビュッ
ビュッ
ビュッ
プル


ギシ
…オレ
なにやってんだ…


ハァ
ハァ


トーン


なんだ これ……


そっ


じゃあ…また次回な
待ってお兄ちゃん
…何？
あたし…今
お兄ちゃんの
彼女なんだよね？

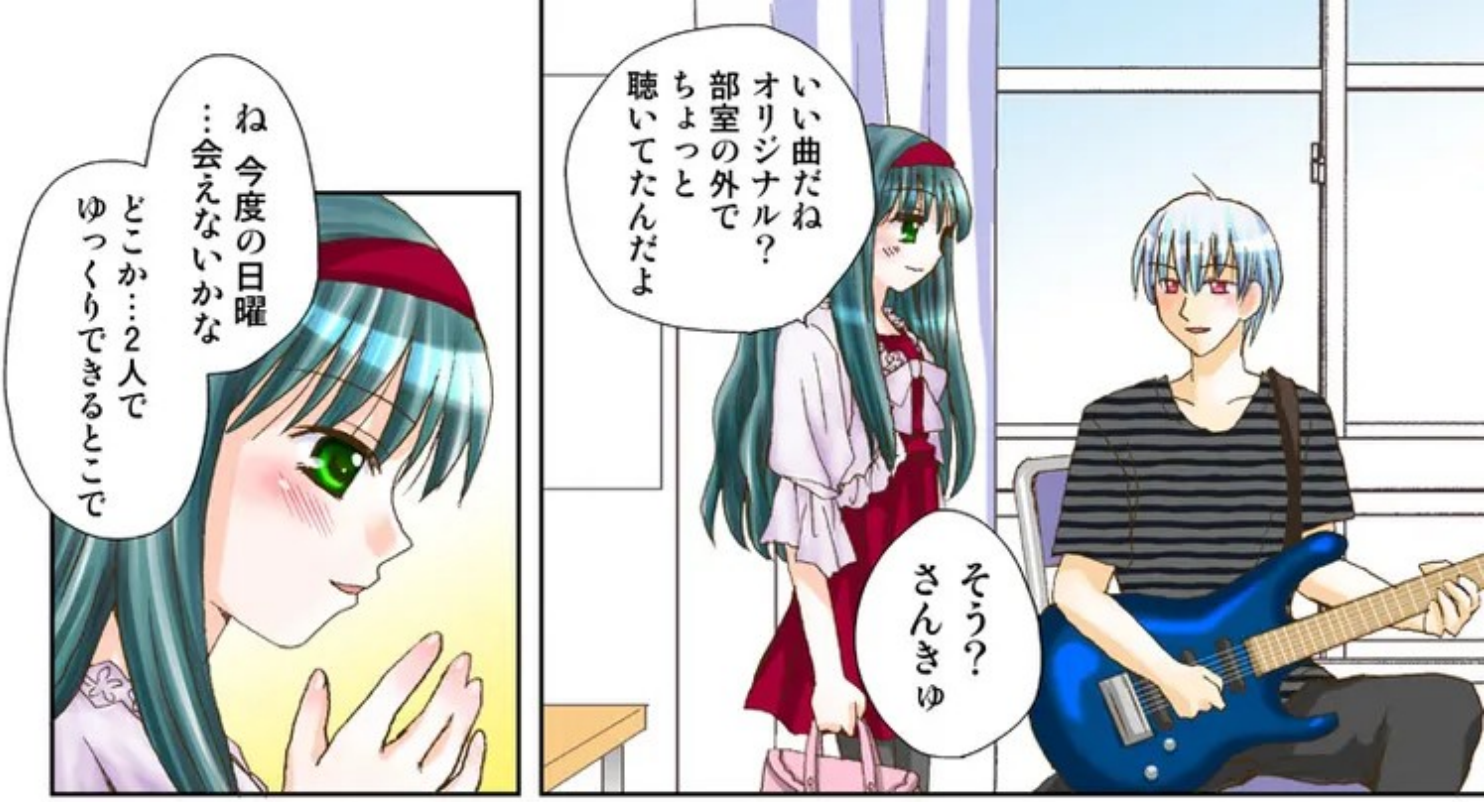

……っ
ぎゅっ
……あぁ　そうだよ
きゃー
よかった！
やった！
やった！
ねぇお兄ちゃん
それなら休みの日に
デートとか
しようよっ！
……


いや
ちょっと待て
有華
よく聞け
えっ？


あのな…
オレたちの関係は
まわりには秘密に
しておいた方が
いいんじゃないか
なにしろお前は
受験生なんだし…
特に有華のおばさんに
バレたらオレもう
家庭教師にも
来れなくなるかも
しれないぞ
あっ…
そっか…
そうだね…
なっ
だから…
とにかく受験が
終わるまでは


秘密の関係ね？
淋しいけど…
わかった
次のカテキョの
時間を
楽しみにしてる
じゃあまた


はぁ…
有華は…いい子だと思う
もし翔子との関係が
本当に終わって
いたならきっと
何の問題も
なかったんだろう
でもオレは
秘密の関係ね？
こんなん…問題
先送りにしてるって
わかってんだけど…
大学・軽音部部室
佐倉くーん
お客さん
幹弥くん
こんにちは
おぅ
翔子


いい曲だね
オリジナル？
部室の外で
ちょっと
聴いてたんだよ
そう？
さんきゅ
ね 今度の日曜
…会えないかな
どこか…2人で
ゆっくりできるとこで


あぁ それなら
うちくる？
ギターも聴かせて
あげられるし
えっ？
でも幹弥くん
自宅住まいじゃ
その日は町内行事で
両親ともいないんだ
だから平気


あっ なんだー
翔子挨拶しなきゃ
いけないのかなって
ドキドキしちゃった
ははは それは
まぁそのうちな
ガー


よし、こんなもんかな
これならじゅーぶん
ゆっくり愛を語って…
ピンポーン
おっ？早いな
いらっしゃ…
ガチャ
こんにちはー
お兄ちゃん
なっ……あ……有華…
どうしたんだ
突然……


お前、こないだ
言ったこと
ちゃんと聞いてたか？
うちなんか来てたら
ダメだろう
だって今日は
ママもパパも
佐倉のおじさんも
おばさんもみんな
恒例行事でお出かけ
じゃない
秘密に出来るよ？


それにせっかく
お兄ちゃんの彼女に
なれたんだもん
一分一秒でも
一緒にいたいって
思うのは
当然でしょ？


…わ わかった
わかったから
とりあえず入れ


わーい！
ちっちゃい頃
遊びに来て
以来だねー
部屋で待ってろ


……仕方ない
カチカチ
『すまん 急用が入った。
今日の約束はキャンセ
ルで。この埋め合わせは
こんど必ず』


『えー もう駅まで来てたのにひどいよ～ (>_<)』
くっー…
…翔子
ごめん…
チャッ
……
かっこいいギターだねっ
お兄ちゃん昔から音楽やりたいって言ってたもんね
後で弾いてみてくれる？
すっ
……ああ
……お兄ちゃん……
…何してんだよ
ちー…
なでなで


おやっ
ぴくっ
……
なんか……
お兄ちゃん
ご機嫌ナナメ
みたいだから
気持ちよくして
あげようかなって
ペロッ
ズル～
気持ちよくない？
どうすれば
気持ちよく
なるのかな？
はぁ…
ペロ


んっ……
んぷっ……っ
は…
はっ
や……待て有華……
もう十分だから……
ぷっ
ぷっ
ブルッ
ジュプ
ぬちゃ
ちゅぽ
ちゅぷ
ニュプッ
んっん


はーっ
はー
がく
がく
はー
それ以上
したら……っ


……くっ
ふるふる
ふる
ホタ
ポタ
パタ…
ぴゅっ
ぴゅっ
ドクドクッ
んんんっ
んっ
んっ


ごめんね
お兄ちゃん
けほっ
少しこぼしちゃった
ポタ
ポタ


い いいんだ
いいんだ
そんなもん無理して
飲もうとするな…！
バッ
お兄ちゃん…！


そうだ…
有華は
悪くないんだ……
有華にしてみたら
自分が彼女だと
思ってるんだから
単純にオレに逢いたくて
来ただけのこと……


オレ最低だ…
このままじゃ
いけない
言うんだ…
言わなきゃ…
有華に
本当のこと…！


言わなきゃ…
言わなきゃ…


あっ…ああ
わかった


あっ そうだ
お兄ちゃんギター弾いて！
へ？
いちどちゃんと
聴いてみたかったの

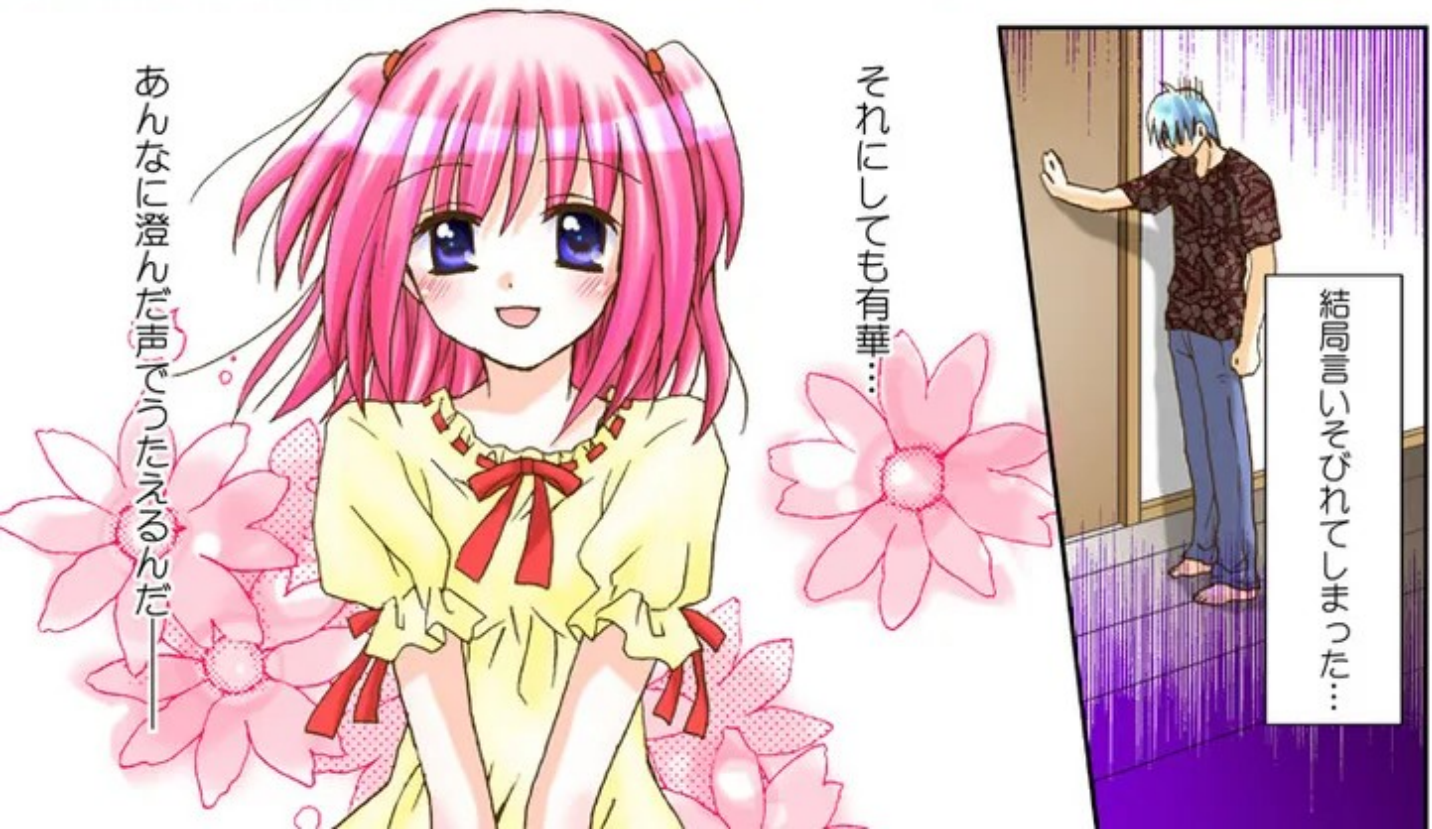





…歌うまいんだな
えっ そう？
♪～♪～♪
驚いたよ
なんか
やってたっけ？
声楽とか
ううん なにも
でもうたうのは好き！
へぇー…
ねぇ
もっと弾いて！
弾いて！




あっ
そろそろ帰っておかないとマズイよね！
はう
そ…そうだな
じゃあ ありがとお兄ちゃん！またねっ!!


結局言いそびれてしまった…
それにしても有華…
あんなに澄んだ声でうたえるんだ――


また来てるよ彼女サン
扉の前で待ってるって
入っていいよっていったのに
あっ……
そ そう
君らすっかり仲直りしたのねぇ
一時期もう終わりだーとかわめいてたけど
わめいてねーよ
…残念だ狙おうかと思ってたのに
え？
冗談よ～早く行っといで


光理　幹弥だけは
やめとけ　あいつは
遊び人だぞ（笑）
そうそう　オレ
高校時代から
知ってるけど
流した浮名は
数知れず…！
えーっ　そうなんだ～？
…聞こえてるぞお前ら…


遊び人なんて
オレそんなつもり
毛頭ないし


…いや　現時点じゃ端から見れば
ふたまたかけてるも同然のオレに
反論の権利はない…か…
キイッ


翔子


すまん 待たせた…
つーか こないだみたいに
入ってきてもよかったのに
…だって…


あ…いや
オレが悪かった
ごめん


あらためて謝るよ……
日曜のことは
本当に申し訳なかった
ぺこり
うん……
もういいよ
わかった


お詫びに…今日
これからメシでも
食いにいこうか
うん


で…さ どっかに
休憩して日曜に
出来なかった分…
ちょ、ちょっとお…
幹弥くんのえっち！


いや 愛を語り
たいなって
言いたかった
だけだよ？
もう！ もう！


でも結局 愛はカラダで語ることになるんだけど
HOTEL NEAPOLIS
HOTEL GIORNO


翔子…
きゅうっ
ぴくっ
ん…
ん
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ


乳首…
かんじゃ
ヤっん
耳だめぇ


楽しくて仕方がない……！
ホントはぜんぶイイんだろ？
やだよ


おまえ ぜんぶだめじゃん


いきなりイクなよ
う…んっ
んんん


いれるぞ


パンッ
パンッ
きゃっんっ
……幹弥くんっ


んっ
ふっ…くっ…っ
この時 耐える姿がたまらない…

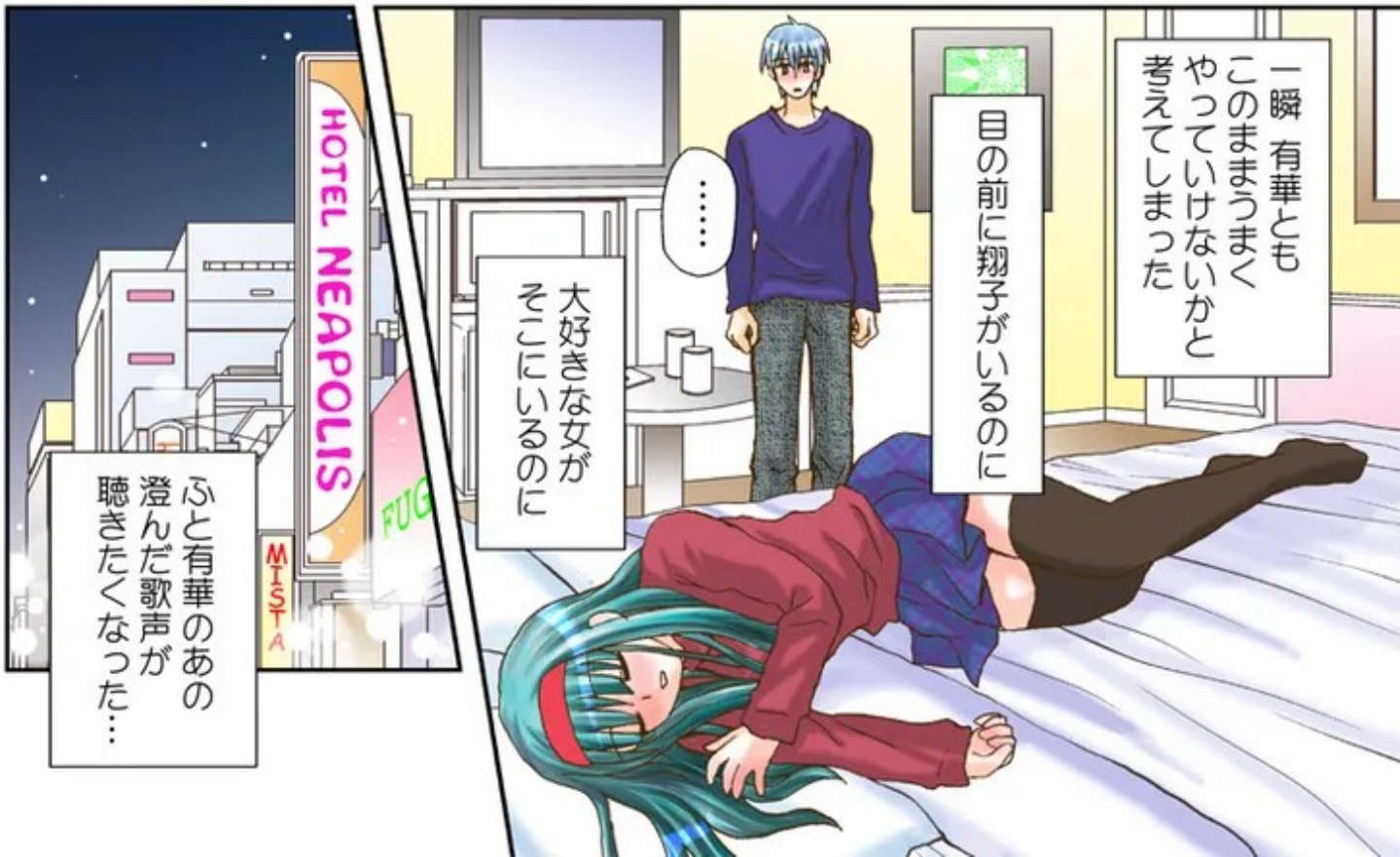

だめっ
はげしくしちゃや
あっ
あぁ…


軽くイったか
プル プル
ぐっ
んんんっ
がく がく
じわぁ…
ブルッ
は——
は——
ご…ごめ…なさ…
落ち着いたら
また動かすよ？
きゅっ
今度は
一緒にイこう…
ビク
んっふ
ちゅ ちゅ
ちゅ
んっ


あっだめ♥だめっんっ
みきやくんっ
きもち…イイっ♥
ビクッビクッビクッ
ズッ
ズッ
翔子 また
イっちゃうよぉ…っ♥
いいよ……っ
翔子……
イこうっ！
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
あ～っあっあっ♥
はっ
はっ
…これは
当分戻ってこないな


そういえば有華がイクとこは見なかったな…
まぁオレとやった時が処女だったんだから仕方ないか
でも有華…ちゃんと気持ちよかったんだろうか…？
次のカテキョの日には……


はっ。。。
…オレ…何考えてんだ…？


一瞬 有華ともこのままうまくやっていけないかと考えてしまった
目の前に翔子がいるのに
……
大好きな女がそこにいるのに
ふと有華のあの澄んだ歌声が聴きたくなった…
HOTEL NEAPOLIS
MISTA
FUG

つづく